

# La Apro

N-ro 1-485  
Januaro 2017  
(2016年12月発行)



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## ★池田エスペラント会総会

2月4日(土) 10時～

会場: 池田市立中央公民館2階会議室B。

予算、決算、活動計画など。役員改選も。

2017年分の会費振替用紙を同封します。よろしくお願いいたします。

2月号には委任状葉書を入れます。近況を書いて送り返してください。

## Ĉu vi konas stereogramon?(163)

*SIMATANI Takesi*



新名神の  
架橋工事  
Konstruata  
ponto de  
la aŭtovojo  
Ŝin-Meiŝin



能勢街道  
(国道173号)  
一の鳥居駅南  
Trans la  
landvojo 173  
(Nose-Kaidoo)  
Sude de la Stacio  
Iĉino-Torii

# Flugas Kondoro (コンドルは飛んでいく)

muz. Daniel Alomía Robles (1871-1942) poez. Simatani Takesi



1) Sen - li-me vas-tas blu-a fir-ma - ment' Kon - dor' en ĝi  
2) La - zu-re be-las vas-ta fir-ma - ment' Kon - dor' en ĝi



flu - gas Sen ti - mo sen la - ment' ĝi flu - gas La  
flu - gas Sen ti - mo sen la - ment' ĝi flu - gas La



gran-da bir-do flu-gas en ĉi - el' Sen ĝen' bir-do  
gran-da bir-do flu-gas en li - ber' Sen ĝen' bir-do



flu - gas Sen ĝe - no en li - ber' ĝi flu - gas Se  
flu - gas Sen ĝe - no en a - er' ĝi flu - gas Se



ha - vus mi flu-gi-lojn, vo-lus mi flu-gi for, for de ka - ten' Se  
ha - vus mi flu-gi-lojn, vo-lus mi flu-gi for, for de ka - ten' Se



ha - vus mi flu-gi-lojn, vo-lus mi flu-gi for, for de ĉag - ren' al fo-ra  
ha - vus mi flu-gi-lojn, vo-lus mi flu-gi for, for de ĉag - ren' al fo-ra



1. be - la e - den' 2. La - be - la e - den', e - den'

サイモンとガーファンクルが詞を付けて歌い有名になった「コンドルは飛んでゆく」ですが、元はペルー人作曲家ダニエル・アロミア＝ロブレスが書いたサルスエラ（オペラ的一种）の序曲です。

## 北摂ザメンホフ祭 (池田・吹田・豊中合同)

2016年12月11日(土) 13時～17時、池田市中央公民館、2階の会議室A。

参加16名。池田4名(岩田好兼、高鶴弘夫、的場祐子、島谷剛)、吹田4名(大畑賀代子、佐藤守男、松田洋子、矢野博幸)、豊中6名(山野敏夫、近藤ハマ、佐野寛、的場勝英、的場朋子、三澤一弘)、KLEG: 森均(草津市)、宝塚: 浅田和子。

山野敏夫さんがYouTubeから編集した、今年のエスペラント大会(関西大会:堺市、日本大会:近江八幡市、世界大会:スロバキア・ニトラ)の動画を上映。豊中市で発掘されたマチカネワニにちなんだ、ぬいぐるみが踊る「マチカネくん体操」のエスペラント訳も上映した。佐野寛さんがエスペラント訳した、猿年の歌「お猿のかごや」を歌唱指導。伴奏と歌詞の字幕は山野敏夫さん。的場勝英さんが漢詩“静夜思 penso en kvieta nokto”を解説。老化防止にと、三澤一弘さんが、口の体操「パンダ」をエスペラント訳して、練習した。

本の紹介は、“Pacmesaĝoj tra la mondo”(佐藤守男さん)と、木村護郎クリストフさん新著の『節英のすすめ』(佐野寛さん。「隣語をかじろう」という中には、手話とエスペラントも紹介されている)

吹田エスペラント会は、文化祭でアドラー哲学について講演会を開催したのですが、大畑賀代子さん、松田洋子さん、佐藤守男さんが、それぞれのお話をしました。





池田の狂言は「仏師 Statu-Metiisto」(仏師:岩田好兼さん、田舎者:島谷剛)。来年の関西エスペラント大会(大阪大学豊中キャンパスの大阪大学会館)では、草津市の森均さんも参加して、3人で「附子(ぶす)」を上演します。

○忘年会は、池田駅前「万惣」で一人3300円。

参加11名:吹田3名(松田洋子、矢野博幸、佐藤守男)、池田3名(岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛)、豊中5名(山野敏夫、近藤ハマ、佐野寛、的場朋子、三澤一弘)

○本の売り上げは、25,580円



月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsa"	出席者
2016年公民館3階C 11月26日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
2階会議室B 12月3日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛。	 3
2階会議室A 12月11日(土)13時	ザメンホフ祭。池田4名：岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。吹田豊中など：12名。	 16
12月17日(土)10時	第九話 "La Dikfingro de la Inĝeniero" 159 ページ 14 行目 "Tio estas ĝusta, mi respondis; から。	 ?

## 例会予定 2016年12月17日。

2017年1月(7)、14日、(21)、28日、

2月4日B(池田エスペラント会総会)、(11)、18日、25日(春の季語で俳句)

3月4日B、(11)、(18)、25日。



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。

\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。(日付)はお休みです。



## 行事予定

2016年12月17日(土) LaMovado 発送枚方池田。

2017年1月21日(土) KLEG 委員会 2月4日(土) 総会

3月10日～12日(金土日) ふれあい作品展

3月18日(土) KLEG 委員会 4月15日(土) KLEG 委員会

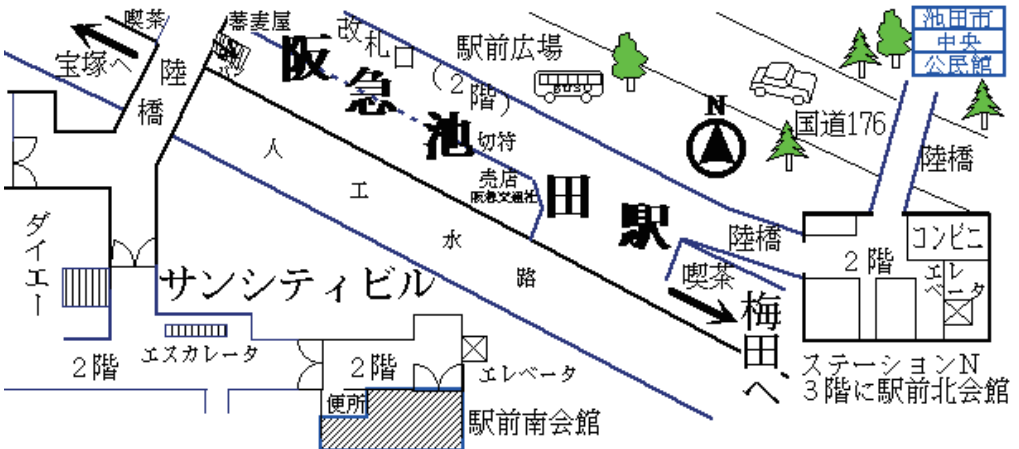
5月2日(火)～5日(金) 第30回みどりの学校(国立信州高遠青少年自然の家)

6月3日～4日(土日) 第65回関西エスペラント大会(豊中市大阪大学会館)

7月22日～29日(土～土) 第102回世界大会(韓国・ソウル)

9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国エスペラント大会(倉敷市)

11月3日(金・祝日)～5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市)







La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## ★池田エスペラント会総会

2月4日(土) 10時～

会場: 池田市立中央公民館2階会議室B。

予算、決算、活動計画など。役員改選も。

委任状葉書を同封しています。近況を書いて送り返してください。

## ★2月25日(土) 春の季語で俳句

メール参加歓迎。詠んだ句は La Movado に投稿します。

※2～3 ページに冬の句会の報告と、春の季語。

### 2016 年決算

収入

会費	66000 円
6 千円× 10 人+ 3 千円× 2	準会員青年半額
ザメンホフ祭	1,689 円
計	67,689 円

支出

KLEG 会費	31750 円
3 千円× 10 人+ 千五百円× 1	青年半額
JEI 団体会費	2000 円
会場費*	7000 円
資料代	0 円
講習会	0 円
通信費 (ゆうメールなど)	8000 円
事務費	1294 円
計	50044 円

公民館: 会議室 C200 円× 26 + B300 円× 6

### 2017 年予算

収入

会費	69000 円
6 千円× 11 人+ 3 千円× 1	準会員半額
本売上げ	1000 円
計	70000 円

支出

KLEG 会費	36000 円
3 千円× 12 人	
JEI 団体会費	2000 円
会場費	9000 円
資料代	10000 円
講習会	3500 円
通信費 (郵送費など)	8000 円
会議費	1500 円
計	70000 円

## 春の季語 sezonaj vortoj de printempo

春 分 (printempa) ekvinokso, 彼岸 ekvinoksa semajno/  
budhoservo, 清明 Festo de Klaro kaj Brilo, 春風 zefiro, 朧月  
pala luno, 春一番 printempa ŝtormo, 苗代 riza vartejo, 逃げ  
水・蜃気楼 miraĝo, 流水 flosglacio, 雪崩 lavango, 黄砂 Flava  
polvo, 霞 nebulo, 焼野 bruligita kampo, 野焼き / 山焼き fajra  
senveprigo, 遠足 ekskurso, 花見 spekti florojn, 東風 (こち)  
orienta vento, 残雪 postrestanta neĝo, かざぐるま ventorado,  
ぶらんこ trapezo, 風船 balono, 凧 kajto, シャボン玉 sapveziko,  
畑打ち plugi/fosi agron, 種蒔き semi (rizon), 接ぎ木 greftaĵo, 挿  
し木 stikaĵo, 茶摘み pluki te-foliojn, ひな祭り pupa festo, 卒業  
diplomiĝo(大学), 入学 eniri lernejon, 八十八夜 la 88a tago(de  
printempa ekvinokso)

**動物:** 雲雀 alaŭdo, 頬白 emberizo, 燕 hirundo, うぐいす  
ugviso, 蛙 rano, 蝶 papilio, オタマジャクシ ranido, 蜂 abelo, ア  
サリ tapo, 蛭汁 supo de korbikoloj, 潮干狩り konkulofosado,  
汐まねき violonkrabo, ヤドカリ paguro, ハマグリ meretriko, ウ  
ニ ekino,

**植物:** 梅 umefloro, 椿 kamelio, 桜 ĉerizfloro; sakuro,  
黄梅 flava(ora) jasmeno, サンシュユ kornuso, コブシ  
kobus-magnolio, レンギョウ forsitio, 沈丁花 dafno, 海棠  
kaidomaluso, ライラック lilako, ツツジ azaleo; rododendro,  
モクレン magnolio, 藤 visterio, 山吹 kerio, シャクナゲ  
rododendro, ヒメシャクナゲ andromedo, 桃の花 persika floro,  
木の芽, 若緑, burĝono; ĝermo; plantido, クコ licio, 柳 saliko,  
マンサク hamamelido, 春の筍 bambuido, 黄水仙 jonkvilo,  
雛菊 lekanteto, キンセンカ kalendulo, 勿忘草 miozoto;  
neforgesumino, アネモネ anemono, チューリップ tulipo, ヒア  
シンス hiacinto, オキザリス oksalido, シクラメン ciklameno, を  
だまき akvilegio, 菜の花 kolza floro, ホウレンソウ spinaco, カ

ラシナ sinapo, 三葉 kriptotenio, スミレ violo, ニンニク; アサツキ ajlo, 浜防風 pastinako, ワサビ vasabio, ミョウガ miogo, ウマゴヤシ medikago, ゲンゲ astragalo, タンポポ leontodo, つくし ekvizeta sporotigo(spiko), スギナ ekvizeto, 桜草 primolo, 雪割草 epitako, 一輪草 anemono, スイバ okzalo, ワラビ preridio, ゼンマイ osmundo; reĝofiliko, セリ enanto, 野蒜 longstamena ajlo, 山吹 kerio, いぬのふぐり veroniko, 春蘭 japana cimbidio, ワカメ undario, キンポウゲ renunkolo, 一人静 printempa kloranto, 二人静 maja kloranto, ハハコグサ gnafalio, アザミ kardo; cirsio, フキノトウ petazita ŝoso, ヨモギ artemizio, 嫁菜 jomeno, カモジグサ agropiro; hundherbo, ヒジキ hizikio, モヅク nemacisto, 海苔 norio, ショウロ rizopogono, レタス laktuko, ミモザ mimozo, 撫子 dianto, パンジー trikoloreto, アスパラガス asparago, わらびもち pasto de preridio, 桜餅 pasto kun sakura folio

## 2016年11月26日(土)の句会 (池田市立中央公民館冬の季語)

La Movado 2月号(1月中旬発行)に、採用されなかった俳句を Apro に掲載します。

- 岩田好兼 (俳号: Joŝi):  
 Neĝas dense plu.  
 Enfermu rememoron  
 kaj renaskiĝu.  
 Sennuba ĉiel' —  
 Neĝfiguro staras ĉe  
 supro de dekliv'.
- 高鶴弘夫 (俳号: Gruo):  
 en frosta vento  
 foliaro fluganta  
 dancas de ĝojo  
 en frosta vento  
 paŝas sur arda braĝo  
 la ŝugendanoj
- 島谷剛 (俳号: Takesi):  
 Floras narcisoj  
 en forlasita bedo —  
 Mastro revenis  
 Ekvendis ostrojn  
 manĝejoj montpiede —  
 Nubas gravede
- 的場祐子 (俳号: Yuko):  
 Alvenis al ni  
 sur kristonaska karto  
 morna sciigo.

月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsø"	出席者
2016年公民館3階C 12月17日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
2017年 1月14日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
1月28日(土)10時	第九話 "La Dikfingro de la Inĝeniero" 164 ページ 5 行目 "Sed mi estas laŭnature iom obstina から。	 ?

## 例会予定

2017年

1月(7)、14日、(21)、28日、

2月4日B(池田エスペラント会総会)、(11)、18日、25日(春の季語で俳句)

3月4日B、(11)、(18)、25日。

公民館使用申請中: 4月8日、22日、5月13日、27日、6月10日、24日、

7月1日、15日、8月5日、19日、9月2日、16日、30日。



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時~12時。

\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。(日付)はお休みです。



## 行事予定

2017年1月21日(土) KLEG 委員会 2月4日(土) 総会

3月10日~12日(金土日) ふれあい作品展

3月18日(土) KLEG 委員会 4月15日(土) KLEG 委員会

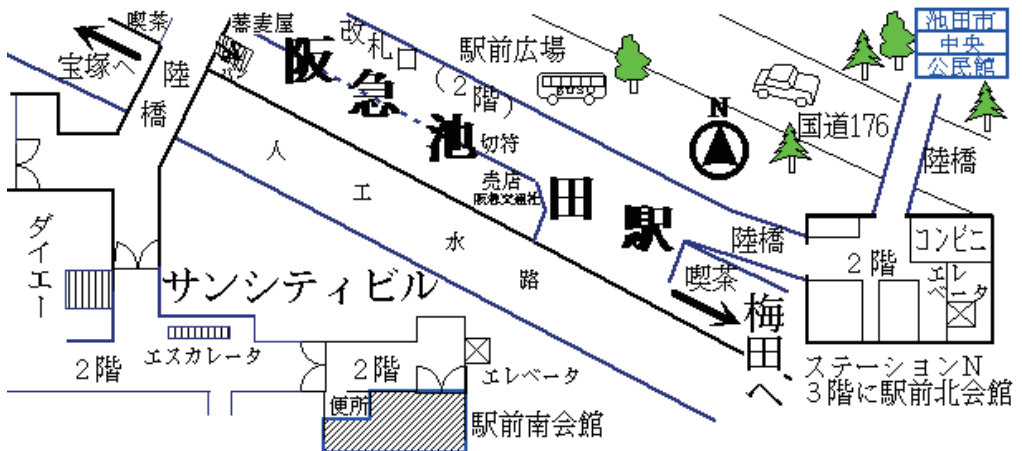
5月2日(火)~5日(金) 第30回みどりの学校(国立信州高遠青少年自然の家)

6月3日~4日(土日) 第65回関西エスペラント大会(豊中市大阪大学会館)

7月22日~29日(土~土) 第102回世界大会(韓国・ソウル)

9月30日~10月1日(土日) 第18回中国・四国エスペラント大会(倉敷市)

11月3日(金・祝日)~5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市)







N-ro 3-487  
 marto 2017  
 (2017年2月発行)



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
 池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

★ 2月25日(土) 春の季語で俳句

メール参加歓迎。詠んだ句は La Movado に投稿します。

★池田エスペラント会総会

2月4日(土) 10時～。予算、決算、活動計画(阪大で関西大会)。役員は留任。

2016年決算

収入	
会費	66000円
6千円×10人+3千円×2	準会員青年半額 1人休会中
ザメンホフ祭	1,689円
計	67,689円

支出	
KLEG会費	31750円
3千円×10人+千五百円×1	青年半額
JEI団体会費	2000円
会場費*	7000円
資料代	0円
講習会	0円
通信費(ゆうメールなど)	8000円
事務費	1294円
計	50044円

\*公民館:会議室C200円×26+B300円×6

2017年予算

収入	
会費	69000円
6千円×11人+3千円×1	準会員半額 青年会員1人は友の会会員※に
本売上げ	1000円
計	70000円

支出	
KLEG会費	33000円
3千円×11人	
JEI団体会費	2000円
会場費	9000円
資料代	10000円
講習会	6500円
通信費(郵送費など)	8000円
会議費	1500円
計	70000円

※友の会会員は会費なし。

総会委任: 大川純平 "Mi ne opinias, ke mi povas pagi la membrokotizon. Mi pensas kiel vivi kiel malriĉulo. Mi nun revas translokiĝi kaj komenci terkulturi. ここ埼玉県狭山市の私の住居の近くには玄米カレーが食べられてエスペラントの音楽が聞けるエスペラント喫茶店 Ruizu があり、町内に少なくとも二人のエスペランティストがいるのですが、喫茶店にもあまり行けていません。"

西尾務「病院で年越しをしましたが、よくなり、26日に退院。現在は元気です」、加藤木みずえ。

# 池田エスペラント会 2016 年活動報告 2017 年 2 月 4 日総会

<まとめ>

例会の平均出席人数は 3.71 人 (2015 年は 3.86 人)。すべて公民館で例会。ほとんど 3 階会議室 C で、料金は減免措置を受けて 1 回 200 円であった。

会員は 13 名 (正会員 12, 準会員 1): 岩田好兼、大川純平 (青年会員)、加藤木みずえ、川越ユリ、久保田百合、高鶴弘夫、島谷剛、田代真弓、田中一喜、西尾 務、松田洋子 (準会員)、的場祐子、吉田ミナ (敬称略。以下同様)。ただし久保田百合はタイの日本人学校勤務で休会。

エスペラント狂言は関西大会で「鬼の養子」ザメンホフ祭で「仏師」上演。田中一喜、久保田百合はタイ在住。田中一喜はタイで講習会・講演など組織。公民館ふれあい作品展 (3 月) と池田文化デー (11 月) にパネルを展示した。

機関誌 La Apro は島谷編集で毎月 A5 判 4 ページで発行した。

俳句の会は、2 月 27 日 (土)、5 月 21 日 (土)、8 月 27 日 (土)、11 月 26 日 (土) 春夏秋冬の季語で俳句を読んだほかに、狂言「鬼の養子」「仏師」の練習をした。

KLEG 委員会出席 (曾根 KLEG 事務所で土曜日午後 3 時半から 5 時半、島谷。1 月 16 日 (欠)、3 月 19 日 (欠)、4 月 16 日、5 月 22 日 (日) [豊中公民館 1 時半。委員会のち総会], 7 月 16 日、9 月 17 日 (土) 11 月 19 日)。

<例会> 月 2 回 ~ 3 回土曜 10 時 ~ 12 時、輪読・会話。

公民館 (3 階会議室 C。400 円を減額で 200 円。B は 2 階会議室 B。600 円を減額で 300 円) 1 月 16 日、23 日、2 月 6 日、27 日 (春の句会)、3 月 5 日、26 日、4 月 9 日、16 日、30 日 B、5 月 7 日、21 日 (夏の句会)、6 月 4 日 B、11 日、25 日、7 月 9 日、23 日、8 月 6 日、20 日、27 日 (秋の句会)、9 月 10 日、24 日、10 月 15 日、29 日、11 月 12 日 B、26 日 (冬の句会)、12 月 3B、17 日。\* 2016 年は池田駅前南会館・池田駅前北会館は利用しなかった。

輪読: 2014 年 10 月から継続して "La Aventuroj de Ŝerloko Holms"。

回数 28 回。のべ 104 人参加。平均 3.71 人

月	回数	平均	月	回数	平均	月	回数	平均	月	回数	平均
1	2	4.0	4	3	3.3	7	2	3.5	10	2	4.0
2	2	4.0	5	2	3.5	8	3	3.7	11	2	4.5
3	2	3.0	6	3	3.7	9	2	3.5	12	3	4.0

個人別出席回数 (敬称略 - 他の部分も。)

氏名	回数	氏名	回数	氏名	回数
島谷剛	28	岩田好兼	24	森均	2
高鶴弘夫	26	的場祐子	24		

この他に、準備作業や行事にのみ参加した会員もある。

<主な活動>

2016 年 1 月 16 日 (土) KLEG 委員会 (欠席)

1 月 26 日 (火) 公民館ふれあい作品展説明会

2 月 6 日 (土) ~ 7 日 (日) ワンワールドフェスティバル

2 月 6 日 (土) 池田エスペラント会総会 (10 時公民館) 参加: 岩田好兼、高鶴弘夫、的場祐子、島谷剛、計 4 名。委任状: 田代真弓「3DS のすれちがい通信で見ず知らずの人とやりとりするひとことメッセージを『Saluton!』にしています。意味を調べて興味を持ってくれる人がいるといいなあ…」、西尾務・加藤木みず江「近江での日本大会にぜひ参加を!! 島谷さん西尾が記念品の翻訳に協力しています」役員留任: 会長 島谷剛、企画 岩田好兼、会計 久保田百合 (島谷代行)、連盟委員 島谷剛、田中一喜。予算・決算。



2 月 27 日 (土) 池田エスペラント会春の句会 (10 時 ~ 12 時) 参加: 岩田好兼、高鶴弘夫、的場祐子、島谷剛、計 4 名。

3 月 11 日 (金) ~ 13 日 (日) ふれあい作品展 (2 階ギャラリー A・B)

3 月 13 日 (日) ふれあい作品展当番 (島谷 剛)

3 月 15 日 (火) 15 時第 65 回関西エスペラント大会 (KEK) 準備会初会合。豊中エスペラント会から山野敏夫、的場 勝英、佐野寛。KLEG: 木元靖浩 (組織部)、中道民広。池田エスペラ

- ント会から実行委員長：島谷剛。
- 3月19日(土) KLEG 委員会(欠席)。
- 5月21日(土) 池田エスペラント会夏の句会(輪読・狂言「鬼の養子」練習も) 参加：岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、計3名。
- 6月6日(月) 野田淳子さん東京コンサート『刻々の誕生』。歌の一部を島谷剛訳のエスペラントで歌った：「愛の喜び」(クラリス)、「星とたんぼぼ」,「積もった雪」,ホルスト曲に島谷剛作詞の"Jupitero, steljuvel"。その他小西岳訳など一部エスペラントで歌った歌が多い。
- 6月18日(土)～19日(日) 第64回関西エスペラント大会(堺市東ヶ丘駅前ビッグアイ。参加208人) 池田から実参加4名：岩田好兼、高鶴弘夫、的場祐子、島谷剛。不在3名：西尾務(入院中)、加藤木みずえ、田代真弓。狂言「鬼の養子 Adoptito de Demonio」鬼：島谷剛、女：岩田好兼。記念品等：『関西エスペラント連盟50年史 1951-2015』、『エスペラント運動を考える-La Movado 誌から-』
- 7月23日～30日(土～土) 第101回世界大会(スロバキア・ニトラ)
- 7月30日(土) IKEDA 文化 DAY 市民総合文化展 出展者説明会(商工会議所 2F 会議室 D)
- 8月27日(土) 池田エスペラント会例会(10時～12時) 秋の季語で俳句。参加：岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、佐野寛(豊中)、計4名。
- 8月30日(火) 15時 KEK 第1回実行委員会。出席：木元靖浩、的場勝英、山野敏夫、島谷剛、佐野寛+日直中道民広。
- 9月10日(土) 10時池田文化デー第2回説明会(例会開始前に寄った)。
- 9月10日～11日(土日) 第48回エスペラント林間学校(京都エスペラント会館)。
- 9月24日(土) 15時 KEK 第2回実行委員会。出席：木元靖浩、的場勝英、山野敏夫、島谷剛、佐野寛。日直中道民広。
- 10月8日(土)～10日(月・祝) 第103回日本エスペラント大会(ヴォーリズ学園)。  
池田より参加：西尾務、加藤木みずえ、島谷剛、岩田好兼、的場祐子、高鶴弘夫。不在参加：田代真弓。旧会員林シゲミも不在参加。記念品「De Dinamika Lago Biŭa al la mondo」(島谷剛・西尾務が翻訳参加)等。池田狂言「竹生嶋詣 Ĉikubu」主：岩田好兼、冠者：島谷剛。  
コンサートで野田淳子さんの歌の中に「星とタンポポ」(島谷剛訳エスペラント入り)、「死んだ男の残したものは」(小西岳訳エスペラント入り)。エスペラント講演：カンボジア青年ステン・テクロンさんがスライドで映した交流外国人の写真の中にタイに住んでいる田中一喜さんと久保田百合さん。森均(もりひとし、草津)さんが来年の関西大会で狂言に参加希望。
- 10月22日(土) 15時 KEK 第3回実行委員会。出席：木元靖浩、的場勝英、山野敏夫、島谷剛。日直田熊健二。欠席：佐野寛(学会)。大会テーマ：「地球市民の連帯の言葉 エスペラント」 "Esperanto en solidareco de mond civitanoj"
- 11月3日～6日(木金土日) 第27回池田文化デー 10時～16時。商工会議所 2階展示室入口
- 11月3(木)～6日(日) アジア大会(中国福建省泉州市 Quanzhou)。
- 11月19日(土) KLEG 委員会。
- 11月26日(土) 冬の季語で俳句の会。岩田好兼、高鶴弘夫、的場祐子、島谷剛、森均(もりひとし、草津)。2017年の関西大会で狂言「附子」に参加予定)、計5名。  
○16時 KEK 第4回実行委員会。曾根。出席：木元靖浩、佐野寛、的場勝英、山野敏夫、島谷剛+日直中道民広。
- 12月11日(土) 北摂ザメンホフ祭(13時公民館会議室 A) 参加16名。池田4名(岩田好兼、高鶴弘夫、的場祐子、島谷剛)、吹田4名(大畑賀代子、佐藤守男、松田洋子、矢野博幸)、豊中6名(山野敏夫、近藤ハマ、佐野寛、的場勝英、的場朋子、三澤一弘)、KLEG: 森均(草津市)、宝塚：浅田和子。池田狂言「仏師 Statu-Metiisto」(仏師：岩田好兼、田舎者：島谷剛)。  
○忘年会：池田駅前の「万惣」で鍋料理、3300円。参加11名：吹田3名(松田洋子、矢野博幸、佐藤守男) 池田3名(岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛) 豊中5名(山野敏夫、近藤ハマ、佐野寛、的場朋子、三澤一弘)
- 12月17日(土) LaMovado 発送枚方池田。
- 12月23日(金祝) 15時 KEK 第5回実行委員会。出席：木元靖浩、的場勝英、山野敏夫、的場朋子、島谷剛、前川治哉(郵便局交渉)。欠席：佐野寛。

月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsø"	出席者
2017年公民館3階C 1月28日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
公民館2階B 2月4日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
公民館3階C 2月18日(土)10時	第九話 "La Dikfingro de la Inĝeniero" 168 ページ 20 行目 "Jen anonco, kiu interesos vin" から。	 ?

**例会予定** 2017年 2月18日、25日(春の季語で俳句)、  
3月4日B、(11)、(18)、25日、4月8日、22日、  
5月13日、27日、6月10日、24日、7月1日B、15日、8月5日、19日、  
9月2日、16日、30日B。



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。(日付)はお休みです。



## 行事予定

2017年3月9日(木) ふれあい作品展搬入 9時半～15時。

3月10日～12日(金土日) ふれあい作品展

3月18日(土) KLEG 委員会 4月15日(土) KLEG 委員会

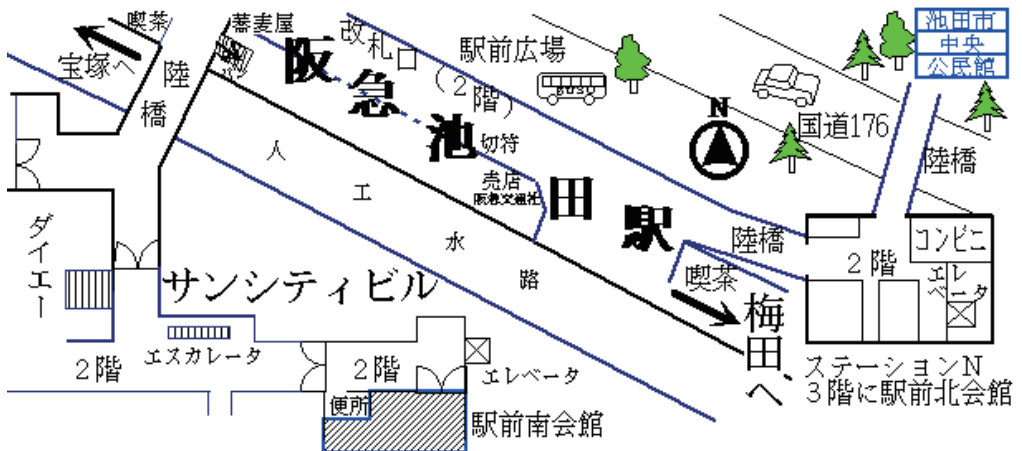
5月2日(火)～5日(金) 第30回みどりの学校(国立信州高遠青少年自然の家)

6月3日～4日(土日) 第65回関西エスペラント大会(豊中市大阪大学会館)

7月22日～29日(土～土) 第102回世界大会(韓国・ソウル)

9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国エスペラント大会(倉敷市)

11月3日(金・祝日)～5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市・かながわ労働プラザ)







La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## ★第 65 回関西エスペラント大会

日時: 2017 年 6 月 3 日(土)・4 日(日)

会場: 大阪大学会館(豊中キャンパス)

- ◎ 公開番組は堀泰雄さん、視覚障がい者で落語家の桂福点さんが講演されます。
- ◎ 池田エスペラント会は狂言「附子」「Akonito」を演じます。

「附子」は何度か演じていますが、今までは、大蔵流の台本で演じていました。今回は、江戸時代の版本『狂言記』巻三の四を台本とします。演者は、大名・岩田好兼、太郎冠者・島谷剛、次郎冠者は、滋賀県草津市在住の森均(もりひとし)さんです。

## Ĉu vi konas stereogramon?(164)

SIMATANI Takesi



藤は山野に自生し、他の樹木に巻き付く。5、6月頃に薄紫色の花が咲く。

Visterio volviĝas al aliaj arboj. En majo aŭ junio floras lavendbluaj floroj.



# Akonito

el "Kyôgenki" vol. 3.4  
tradukis Simatani Takesi 2017

Sinjoro: (Kun longa *KAMISIMO* kaj mallonga glavo) Mi estas Sinjoro en ĉi tiu loko. Hodiaŭ mi ekskursos kaj ion ordonos al la servistoj. Mi voku: Kie estas *Tarookazy*?

*Tarookazy*: (Kun *KYOOGEN*-stila *KAMISIMO* k zono) ♪ Jen!

S: Kie vi estas.

T: Antaŭ vi!

S: Bone! Venu ankaŭ *Zirookazy*.

T: Laŭ via ordono! *Zirookazy*! Tuj venu!

*Zirookazy*: ♪ Jen, antaŭ vi!

S: Mi havas ion ordoni: Hodiaŭ mi iros ekskursi. Vi ambaŭ bone gardu la domon dum mia foresto.

Ambaŭ: Laŭ via ordono!

S: Tie atendu momenton!

Ambaŭ: Jes, Sinjoro!

S: (Alportas nigran tinon) Ĉi tie mi metis akoniton. Restu for kaj gardu vin.

T: Jes, ni ambaŭ estos akompanantoj kaj gardos vin.

S: Vi eraras! Ne akompananto, sed akonito, la plej danĝera veneno. Eĉ vento de ĝia direkto tuj pereigos vin. Nepre restu for dum gardado.

Ambaŭ: Laŭ via ordono! (eksidas)

T: Hej, *Zirookazy*! Hodiaŭ strange ni restas hejme.

Z: Kiam li iras kun vi, mi restas hejme. Kiam li iras kun mi, vi restas hejme. Hodiaŭ strange ni ambaŭ restas hejme! Ve, Danĝere!

(Iras al Ponto)

T: Kio okazis?

Z: Vento venis de ĝia direkto! Ni babilu ĉi tie. (Residas en alia loko)

T: Mi nun volas vidi tiun akoniton.

Z: Kion vi diras! Ne faru absurdaĵon.

T: Vento pereigos min. Vi do kontraŭventumu, dum mi vidos ĝin!

Z: Bona ideo!

T: Ventumu, ventumu! (Iras ŝtelpaŝe)

Z: Ventumas, ventumas!

T: Malligos, malligos! Jen, mi malligis la tinon! (Reiras) Mi do forigos la kovrilon. Vi ventumu forte!

Z: Konsentite!

T: Jen, mi forigis la kovrilon! (reiras) Nun mi vidu bone.

Z: Bone. Vi vidu la enhavon

T: Jen, mi vidis! Mi ja vidis!

Z: Kion vi vidis?

T: Ion nebule nigran kaj masivan. Ĝi ŝajnas bongusta. Nun mi volas manĝi akoniton.

Z: Kian absurdaĵon vi eldiris!

T: Jam mi estas obsedita de akonito. Nepre mi iru kaj manĝu ĝin!

Z: Ne faru absurdaĵon! Mi ne lasos vin iri! (kaptas la manikon.)

T: ♪ Forskuinte la manikon, ♪ mi rapidu al akonito! (manĝas)

T: Toleri mi ne povas!

Z: Ve, *Tarookazy*! Kiel vi sentas?

T: En la tino estas... sukero!

Z: Ĉu sukero?

T: Jes, sukero!

Z: Ankaŭ mi volas manĝi.





T: Ankaŭ vi povas manĝi.

Z: Mi manĝos... Vere ĉi tio estas sukero!

T: Por forigi nin de la sukero, Sinjoro

diris, ke ĝi estas akonito.  
Z: Ne manĝu vi sola. Donu ĝin al mi.  
T: Iomete mi donos al vi.  
Z: Ne manĝu tiel multe! Transdonu ĝin al mi.  
Ambaŭ: Bonguste!(vidas en la tinon)  
T: Vi ja faris: La tino estas tute malplena! Sinjoro deadmonis nin de la tino, ĉar en ĝi estas veneno. Kiam li revenos, senkaŝe mi diros, kion vi faris.  
Z: Vi mem malfermis la tinon, kvankam mi malaprobis! Mi diros ĉion al Sinjoro!  
T: Mi ŝercis! Por senkulpigi nin, kiam revenos Sinjoro, disŝiru tiun bildon en la tokonomo.  
Z: Volonte mi disŝiru. Riĉ-raĉ, riĉ-raĉ!  
T: Vi ja faris! Tio estis altvalora bildo de Avalokiteŝvaro tuĉe pentrita de fama Bonzo *MOKKEI*. Kiam revenos Sinjoro, senkaŝe mi diros, kion vi faris.  
Z: Vi mem ordonis disŝiri la bildon! Mi diros ĉion al Sinjoro!  
T: Mi ŝercis!  
Z: Kiel ni senkulpigu nin, kiam revenos Sinjoro.  
T: Nun, volu disrompi ankaŭ tiun tason de *TENMOKU* SUR TABLETO.  
Z: Kia absurdaĵo! Tian trezoron mi ne povas disrompi!  
T: Ĉifoje mi helpos vin; ni kune disrompu la tason.  
Z: Mi do volonte disrompu!  
T: Krak, krak!  
Z: Kraŝ! (Ambaŭ ridas)  
T: Kiam revenos Sinjoro, ni ploru kun senĉesaj larmoj.  
Z: Mi do ploras!

Sinjoro: Hej, mi estas hejme!  
T: Li revenis! Ploru, ploru!  
S: Kio okazis? Kial vi ploras!  
T: Vi klarigu ĉion al Sinjoro.  
Z: Ne mi, sed vi klarigu.  
T: Mi do klarigos: Dum via foresto ni luktis sumoon. Zirookazy kaptis min ĉe brako kaj levis mian piedon. Mi faletis, kaptis tiun kakemonon en la tokonomo kaj tiel... disŝiris ĝin! (Ambaŭ ploras)  
S: Ha, vi disŝiris altvaloran bildon de Avalokiteŝvalo!  
T: Li ĵetis min sur la tason de *TENMOKU* SUR TABLETO. Kaj disrompis ĝin!  
S: Vi ja disrompis la valoran tason de *TENMOKU* SUR TABLETO!  
T: Ĉar ni estis certaj, ke vi ne lasos nin vivaj, ni volis morti kaj manĝis la venenon nomatan akonito. Ni tamen ne mortis kaj ankoraŭ nun vivas.  
S: Akonito certe mortigos vin!  
T: ♪ La unua manĝo ne mortigis nin.  
Z: ♪ La dua manĝo ne mortigis nin.  
T: ♪ La tria, la kvara,  
Z: ♪ La kvina kaj la sesa manĝo...  
Ambaŭ: ♪ Eĉ la deka manĝo ne mortigis nin, dum malpleniĝis la tino kaj restas ni tute sanaj.  
S: Vi restas tute sanaj?! (batas)  
Z: Pardonon!  
T: Senkulpigo ne sukcesis!  
S: Kiaj ruzuloj! Trompuloj!  
Ambaŭ: Pardonon! (Forkuras)  
S: Mi ne pardonos vin! (Postkuras) (fino)  
※ Bildo en tokonomo: Bildo aŭ kaligraf-aĵo en niĉo por eksponaĵo.

月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsó"	出席者
2017年公民館3階C 2月18日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
公民館3階C 2月25日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
公民館2階B 3月4日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 ?
公民館3階C 3月25日(土)10時	第十話 "La Nobela Fraŭlo" 176 ページ 9 行目 La nov-edzino, bonŝance から。	 ?

**例会予定** 2017年 2月18日、25日(春の季語で俳句)、  
3月4日B、(11)、(18)、25日、4月8日、22日、  
5月13日、27日、6月10日、24日、7月1日B、15日、8月5日、19日、  
9月2日、16日、30日B。

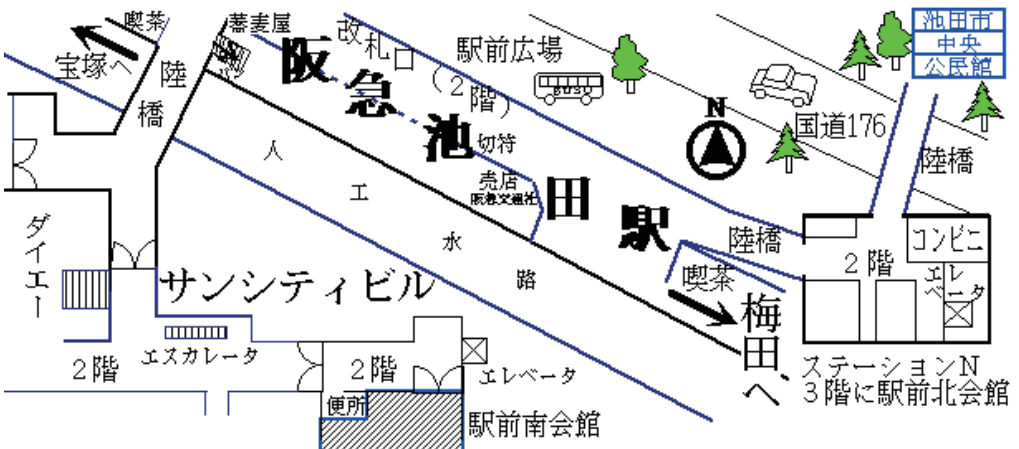


会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。(日付)はお休みです。



## 行事予定

2017年3月18日(土) KLEG委員会 4月15日(土) KLEG委員会  
5月2日(火)～5日(金) 第30回みどりの学校(国立信州高遠)  
6月3日～4日(土日) 第65回関西大会(豊中市大阪大学会館)  
7月22日～29日(土～土) 第102回世界大会(韓国・ソウル)  
9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国エスペラント大会(倉敷市)  
11月3日(金・祝日)～5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市)







La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## ★ 5月27日(土) 夏の季語で俳句の会

メール参加歓迎。詠んだ句は La Movado に投稿します。

2月25日(土)の句会(春の季語) La Movado 5月号掲載以外の俳句です。

○ 岩田好兼 ( 俳号 : Joŝi ):

Vilaĝo en val'—  
Dometoj baniĝas en  
sakura floro.

Sakura floro —  
Ĝia peco falas en  
pokalon ĉe buŝ'.

○ 高鶴弘夫 ( 俳号 : Gruo ):

akvo varmeta  
kvietigu doloron  
de mia lumbo

senkurbe kiel  
spiko de ekvizeto  
igu min streĉi

○ 島谷 剛 ( 俳号 : Takesi ):

En fora nordo  
flosas glacio al bordo —  
Televidas mi

Blank ĉambro kun  
odoro desinfekta —  
Bluas violoj —

○ 的場祐子 ( 俳号 : Yuko ):

De du nevinoj  
kuketoj memfaritaj —  
Valentin'tago.

Printempa pluvo  
tagmezo de ripoztago  
kviet' kaj silent'.

## ★ 第 65 回関西エスペラント大会

日時: 2017年6月3日(土)・4日(日)

会場: 大阪大学会館(豊中キャンパス)

◎公開番組は堀泰雄さん、視覚障がい者で落語家の桂福点さんが講演されます。

◎池田エスペラント会は狂言「附子」"Akonito"を演じます。

<http://esperanto.sannasubi.com/>

池田エスペラント会誌 La Apro



"Akonito" 台本最新版

2017 - majo - 1 -



## 庭鳥聳 (にわとむこ)

狂言記外五十番 巻二の八

登場人物: 舅、冠者、聳

舅 (長袴 (ながはかま)、小刀 (こたな)) 「これはこの所の大名、今日 (けふ) は聳入 (むこり) がある、太郎冠者あるか。」

冠者 (半袴 (はんはかま)、腰帯 (こしび)) 「御前に。」

舅 「今日は聳殿の御いでじゃほどに、御いでの時分、この方へ申せ、糸い。」

冠者 「はあ。」

聳 (烏帽子、素袍袴、小刀) 「これは花聳で御ざる、今日聳入致そうと存ずる、舅はこれで御ざる、物申。」

冠者 「や、誰 (た) そ、どなたで御ざる。」

聳 「聳です。」

冠者 「はあ、これへ御通りなされませ。」

聳 「心得た。謡へ聳は舅の内へ行き〜御座敷までは歴〜成 (なり) とてかゝりの許 (もと) にぞ立ったりけり。」(庭で) 「くわっ〜。」

舅 「謡へ舅はこれを見るよりも 広縁より飛んで下 (を) り、羽だたきしてぞ立ったりけり。」

冠者 「申、何事で御ざりますぞ。」

舅 「やい、そうじて聳の恥は舅 (しゅう) の恥、舅の恥は聳の恥、かまへて笑ふな。」

冠者 「はあ。」

(舅と聳はまた庭鳥の蹴合うまねをする)

聳・舅 「こくわっこ〜。」

(聳は鳴きながら退場。舅が追い込む)

舅 「やるまいぞ〜。」

冠者 「心得た〜。」 (終わり)

※ 酉年の祝賀狂言として演じられる。

## Kokeriko!

el “Kyôgenki Gai 50 Ban” vol. 2.8

tradukis Simatani Takesi 2017

Sinjoro: (Kun longa *KAMISIMO* kaj mallonga glavo) Mi estas Sinjoro en ĉi tiu loko. Hodiaŭ unuafoje vizitos la edzo de mia filino por saluti min. Kie estas Tarookazya?

Tarookazya: (Kun *KYOOGEN*-stila *KAMISIMO* kaj zono) Jen antaŭ vi!

S: Hodiaŭ la bofilo bonvolos unuafoje viziti min. Anoncu min, kiam li venos.

T: Laŭ via ordono!

Bofilo: (Kun ĉapo, hakamo kaj mallonga glavo) Mi estas la bofilo atendata! Hodiaŭ unuafoje mi vizitos la bopatron. Jen estas lia domo. Saluton, Sinjoro, saluton.

T: Kiu bonvolas viziti nin?

B: La bofilo mi estas!

T: Bonvenon! Bonvolu veni en la domon.

B: Koran dankon. Ne decas al bofilo la salono. Jam sufiĉas korto por dispono. (En la korto) Ko, ko, koke, koke, kokeriko!...

S: Ankaŭ patro estu en la korto. (Iras en la korton) Per flugiloj frapu sen vorto.

T: Hej, Sinjoroj! Kio okazis?

S: Honto de filo estas honto de patro. Honto de patro estas honto de filo. Nepre ne ridu pri ni.

T: Laŭ via ordono!

(S kaj B kokerikas kaj imitas piedbati)

S kaj B: Ko, ko, ko, kokeriko!

(B eliras kokerikante. S sekvas lin)

S: Kien vi iras? Kaptu lin, kaptu lin!

T: Konsentite! (fino)

※ Jen programero por celebri birdan jaron de zodiakaj signoj.




## 夏の季語 *sezonaj vortoj de somero*

立夏 komenco de somero, メーデー maja tago, 麦の秋 maturas tritiko, 短夜みじかよ mallonga nokto, 梅雨 pluva sezono, 五月雨 maja pluvo, 青嵐 somera ŝtormo, 白夜 blankaj noktoj, 夏至 somera solstico, 雲の峰 (入道雲) kumulonimbuso, 雷 fulmo kaj tondro, 夕立 subita (forta, kaprica) pluvo, pluva duŝo, 虹 ĉielarko, 滝 akvofalo, 涼しい friska, 熱帯夜 tropika nokto, 夕焼け vesperruĝo, 子供の日 tago de knabo, 鯉のぼり ventokarpo, 菖蒲湯 bano kun akorfolioj, 母の日 tago de la patrino, 祭 somera festo, 草笛 sirinkso, ナイター nokta basballudo, 田植え plantado de rizidoj, 青田 rizkampo nematura, 父の日 tago de la patro, 海の家 budo ĉe banejo, ハンモック hamako, キャンプ kampadi, tendumi, 汗 ŝvito, ハンカチ naztuko, poŝtuko, 行水 sinlavo en pelvego, bano en nevarma akvo, シャワー duŝo, 扇風機 ventumilo, 風鈴 ventotintilo, 水遊び ludi apud akvo, 水鉄砲 akvopafilo, 水中花 akvofloro, プール naĝbaseno, 海水浴 marbano, 夏休み somera ferio, libertempo, 線香花火 artofajra bastoneto, 花火 artofajro, 氷河 glaciejo/glaĉero, 泉 / 清水 fonto, 林間学校 libertempa arbara lernejo/somera tendaro, 登山 grimpi monton, 幽霊 fantomo, 川床 friska balkono super rivero, ヨット jakto, 夜店 nokta foiro, 帰省 veni hejmen,

**食物:** アイスcream glaciaĵo, アイスコーヒー glacikafo, 麦茶 infuzaĵo el hordeo, サイダー limonado, トマト tomato, いちご frago, 柏もち moĉio kun faga folio,

**動物:** 金魚 orfiŝo, カタツムリ heliko, アマガエル hilo, verda rano, ホタル lampiro, メダカ orizio, ハエ muŝo, クモ araneo, アリ formiko, 蚊 kulo, moskito, トカゲ lacerto, 熱帯魚 tropika fiŝo, テントウムシ kokcinelo, 毛虫 raŭpo, セミ cikado, コウモリ vesperto, アオサギ ardeo, クイナ akvoralo / krekso / ralo, ヤモリ geko, ホトトギス eta kukolo, カッコウ kukolo, ヘビ serpento, マムシ vipero, ウ kormorano, フナムシ ligio, カブトムシ kornoskarabo, 夜光虫 noktiluko,

**植物:** 若葉 juna folio, 青葉 verdaj folioj, 夏草 someraj herboj, 竹の子 bambuido, 牡丹 peonio, カーネーション dianto kariofildianto, ひなげし papaveto, granrozo, バラ rozo, 花菖蒲 japana irido, アジサイ hortensio, スズラン konvalo, サクランボ ĉerizarbo, ヒルガオ kalistegio, サルビア salvio, ヒマワリ helianto, sunfloro, サルスベリ lagerstromo, ユリ lilio, 月見草 enotero, 睡蓮 nimfeo, 蓮 lotuso, 夕顔 lagenario, ラッキョウ ĉina ajlo, 雪の下 saksifrago

月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsø"	出席者
2017年公民館3階C 3月25日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
公民館3階C 4月8日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
公民館2階B 4月22日(土)10時	第十話 "La Nobela Fraŭlo" 180 ページ 21 行目 Lordo Sankt-Simono levis la ŝultrojn kaj brovumis から。	 ?

**例会予定** 2017年 4月8日、22日、5月13日、27日、  
6月10日、24日、7月1日B、15日、8月5日、19日、  
9月2日、16日、30日B。

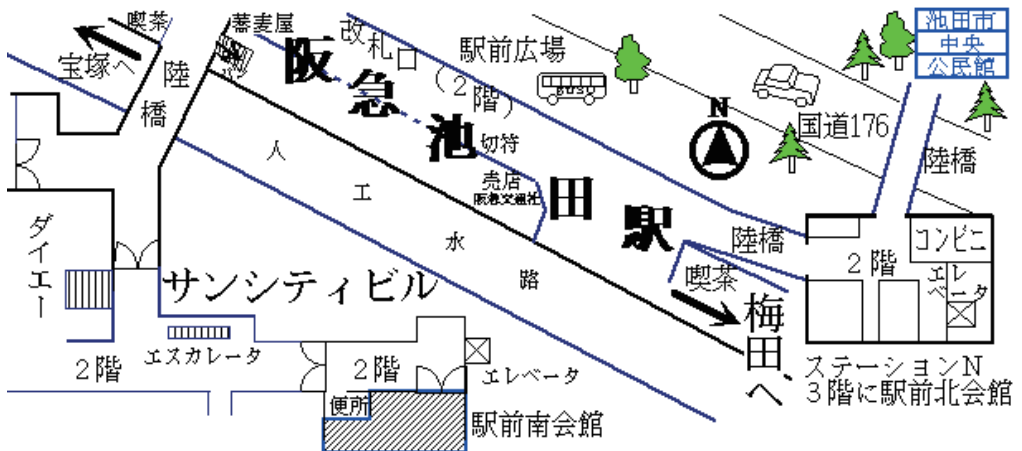


会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。(日付)はお休みです。



## 行事予定

2017年 KLEG 委員会 4月15日(土) KLEG 委員会  
5月2日(火)～5日(金) 第30回みどりの学校(国立信州高遠)  
5月3日(水)～5日(金) 第50回エスペラントセミナーオ(名古屋)  
5月14日(日) エスペラント学力検定試験4級(京都エスペラント会館)  
5月27日(土) 第66回関東エスペラント大会(東京都調布市)  
6月3日～4日(土日) 第65回関西エスペラント大会(豊中市大阪大学会館)  
7月22日～29日(土～土) 第102回世界大会(韓国・ソウル)  
9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国エスペラント大会(倉敷市)  
11月3日(金・祝日)～5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市)  
12月17日(日) 北摂ザメンホフ祭(吹田担当)





# La APRO

N-ro 6-490  
junio 2017  
(2017年5月発行)



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## ★ 5月27日(土) 夏の季語で俳句の会

メール参加歓迎。詠んだ句は La Movado に投稿します。

### ★大会前遠足

#### Antaŭkongresa Ekskurso

6月3日(土) 10:00 ~ 11:30

10時、阪急池田駅改札口前に集合。栄町商店街を抜けて、ウオンバットやエミューがいる、

五月山動物園に向かいます。遠足解散後、池田や石橋の駅前で食事する時間があります。

足腰の強い方は市街を見おろす秀望台へ登れます。

Kolektiĝu ĉe la biletkontrolejo de la Stacio IKEDA je 10:00. Ni promenu tra arkada strato kaj vizitu la Bestejon SATUKIYAMA, kie vivas vombatoj kaj emuoj. Post disigiĝo vi havos liberan tempon por manĝi lunĉon ĉe la stacioj IKEDA aŭ ISIBASI.

Vi ankaŭ povas grimpi al belvidejo SUUHOUDAI.



## ★第65回関西エスペラント大会

日時: 2017年6月3日(土)・4日(日)

会場: 大阪大学会館(豊中キャンパス)

◎公開番組は堀泰雄さん、視覚障がい者で落語家の桂福点さんが講演されます。

◎池田エスペラント会は狂言「附子」"Akonito"を演じます。

<http://esperanto.sannasubi.com/>

池田エスペラント会誌 La Apro

2017 - junio - 1 -



# Akonito

台本最新版

el “Kyoogenki GaiGozyuuBan” vol. 3.4  
tradukis Simatani Takesi 2017

Sinjoro: (Kun longa kamiŝimo kaj mallonga glavo) Mi estas Sinjoro en ĉi tiu loko. Hodiaŭ mi ekskursos kaj ion ordonos al la servistoj. Mi voku: Kie estas Tarookazya?

Tarookazya: (Kun *KYOUGEN*-stila kamiŝimo kaj zono) ♪ Jen!

S: Kie vi estas?

T: Antaŭ vi!

S: Bone! Venu ankaŭ Ziroomkazya.

T: Laŭ via ordono! Ziroomkazya! Tuj venu!

Ziroomkazya: ♪ Jen, antaŭ vi!

S: Mi havas ion ordoni: Hodiaŭ mi iros ekskursi. Vi ambaŭ bone gardu la domon dum mia foresto.

Ambaŭ: Laŭ via ordono!

S: Tie atendu momenton!

Ambaŭ: Jes, Sinjoro!

S: (Alportas nigran tinon) Ĉi tie mi metis akoniton. Restu for kaj gardu vin.

T: Jes, ni ambaŭ estos akompanantoj kaj gardos vin.

S: Vi eraras! Ne akompananto, sed akonito, la plej danĝera veneno. Eĉ vento de ĝia direkto tuj pereigos vin. Nepre restu for dum gardado.

Ambaŭ: Laŭ via ordono! (S-ro foriras)

T: Hej, Ziroomkazya! Hodiaŭ strange ni restas hejme. (eksidas)

Z: Kiam li iras kun vi, mi restas hejme. Kiam li iras kun mi, vi restas hejme. Hodiaŭ strange ni ambaŭ restas hejme! Ve, Danĝere!

(Iras al Ponto)

T: Kio okazis?

Z: Vento venis de ĝia direkto! Ni babilu ĉi tie. (Residas en alia loko)

T: Mi nun volas vidi tiun akoniton.

Z: Kion vi diras! Ne faru absurdaĵon.

T: Vento pereigos min. Vi do kontraŭventumu, dum mi vidos ĝin!

Z: Bona ideo!

T: Ventumu, ventumu! (Iras ŝtelpaŝe)

Z: Ventumas, ventumas!

T: Malligos, malligos! Jen, mi malligis la tinon! (Retroiras) Mi do forigos la kovrilon. Vi ventumu forte!

Z: Konsentite!

T: Jen, mi forigos la kovrilon! (reiras) Nun mi vidu la enhavon.

Z: Bone. Vi vidu la enhavon

T: Jen, mi vidis! Mi ja vidis!

Z: Kion vi vidis?

T: Ion nebule nigran kaj masivan. Ĝi ŝajnas bongusta. Nun mi volas manĝi akoniton.

Z: Kian absurdaĵon vi eldiris!

T: Jam mi estas obsedita de akonito. Nepre mi iru kaj manĝu ĝin!

Z: Ne faru absurdaĵon! Mi ne lasos vin iri! (kaptas la manikon.)

T: ♪ Forskuinte la manikon, ♪ mi rapidu al akonito! (manĝas)

T: Toleri mi ne povas!

Z: Ve, Tarookazya! Kiel vi sentas?

T: En la tino estas... sukero!

Z: Ĉu sukero?

T: Jes, sukero!

Z: Ankaŭ mi volas manĝi.

T: Ankaŭ vi povas manĝi.

Z: Mi manĝos... Vere ĉi tio estas sukero!

T: Por forigi nin de la sukero, Sinjoro

diris, ke ĝi estas akonito.  
Z: Ne manĝu vi sola. Donu ĝin al mi.  
T: Iomete mi donos al vi.  
Z: Ne manĝu tiel multe! Transdonu ĝin al mi.  
Ambaŭ: Bonguste!(vidas en la tinon)  
T: Vi ja faris: La tino estas tute malplena! Sinjoro deadmonis nin de la tino, ĉar en ĝi estas veneno. Kiam li revenos, senkaŝe mi diros, kion vi faris.  
Z: Vi mem malfermis la tinon, kvankam mi malaprobis! Mi diros ĉion al Sinjoro!  
T: Mi ŝercis! Por senkulpigi nin, disŝiru tiun bildon en la tokonomo.  
Z: Volonte mi disŝiru. Riĉ-raĉ, riĉ-raĉ!  
T: Vi ja faris! Tio estis altvalora bildo de Avalokiteŝvaro tuĉe pentrita de fama Bonzo *MOKKEI*. Kiam revenos Sinjoro, senkaŝe mi diros, kion vi faris.  
Z: Vi mem ordonis disŝiri la bildon! Mi diros ĉion al Sinjoro!  
T: Mi ŝercis ankaŭ ĉifoje!  
Z: Kiel ni senkulpigu nin, kiam revenos Sinjoro?  
T: Nun, volu disrompi ankaŭ tiun tason de *TENMOKU* KUN SUBPLADO.  
Z: Kia absurdaĵo! Tian trezoron mi ne povas disrompi!  
T: Ĉifoje mi helpos vin; ni kune disrompu la tason.  
Z: Mi do volonte disrompu!  
T: Krak, krak!  
Z: Kraŝ! (Ambaŭ ridas)  
T: Kiam revenos Sinjoro, ni ploru kun senĉesaj larmoj.  
Z: Mi do ploros!  
Sinjoro: Hej, mi estas hejme!

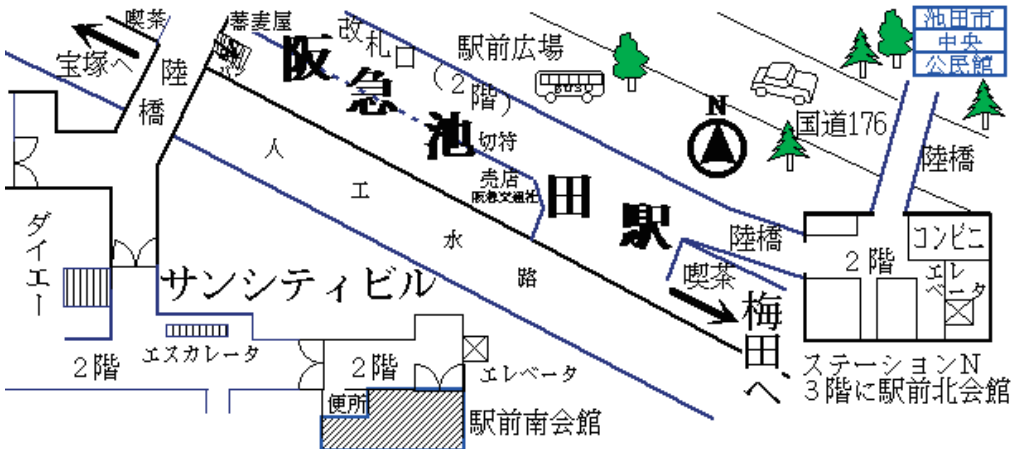
T: Li revenis! Ploru, ploru!  
S: Kio okazis? Kial vi ploras?  
T: Vi klarigu ĉion al Sinjoro.  
Z: Ne mi, sed vi klarigu.  
T: Mi do klarigos: Dum via foresto ni luktis sumoon. Zirookazyza kaptis min ĉe brako kaj levis mian piedon. Mi faletis, kaptis tiun kakemonon en la tokonomo kaj tiel... disŝiris ĝin! (Ambaŭ ploras)  
S: Ha, vi disŝiris altvaloran bildon de Avalokiteŝvaro!  
T: Li ĵetis min sur la tason de *TENMOKU*. Kaj disrompis ĝin!  
S: Vi ja disrompis la tason! Kio estu via puno?!T: Ĉar ni estis certaj, ke vi ne lasos nin vivaj, ni volis morti kaj manĝis la venenon nomatan akonito. Ni tamen ne mortis kaj ankoraŭ nun vivas.  
S: Akonito certe mortigos vin!  
T: ♪ La unua manĝo ne mortigis nin.  
Z: ♪ La dua manĝo ne mortigis nin.  
T: ♪ La tria, la kvara,  
Z: ♪ La kvina kaj la sesa manĝo...  
Ambaŭ: ♪ Eĉ la deka manĝo ne mortigis nin, dum malpleniĝis la tino kaj restas ni tute sanaj.  
S: Vi restas tute sanaj?! (batas)  
Z: Pardonon!  
T: Senkulpigo ne sukcesis!  
S: Kiaj ruzuloj! Trompuloj!  
Ambaŭ: Pardonon! (Forkuras)  
S: Mi ne pardonos vin! (fino)  
※ Bildo en tokonomo: Bildo aŭ kaligrafiaĵo en niĉo por eksponaĵo.  
※ *TENMOKU* KUN SUBPLADO: Nigra te-taso kun fera (nigra)glazuro kaj Subplado.

月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsø"	出席者
2017年公民館3階C 4月22日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。 久保田百合、田中一喜。	☀️ 6
5月13日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛。	☔️ 3
5月27日(土)10時	第十話 "La Nobela Fraŭlo" 184 ページ 8 行目 Lestrado rigardis malgaje から。夏の季語で俳句、狂言練習も。	😊 ?

**例会予定** 2017年 5月13日、27日、6月10日、24日、  
7月1日B、15日、8月5日、19日、  
9月2日、16日、30日B。

🐎 会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。♟️  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。(日付)はお休みです。

**行事予定** 2017年 5月27日(土) 第66回関東エスペラント大会(調布市)  
6月3日～4日(土日) 第65回関西エスペラント大会(豊中市)  
7月22日～29日(土～土) 第102回世界大会(韓国・ソウル)  
9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国エスペラント大会(倉敷市)  
11月3日(金・祝日)～5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市)  
12月17日(日) 北摂ザメンホフ祭(吹田担当)







*La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA*  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## ★第 65 回関西エスペラント大会

2017年6月3日(土)・4日(日) 大阪大学会館(豊中キャンパス)

◎公開番組は堀泰雄さん、視覚障がい者で落語家の桂福点さんが講演。

◎池田エスペラント会は狂言「附子」"Akonito"を演じました。

配役は、主: 岩田 好兼、太郎冠者: 島谷 剛、次郎冠者: 森 均 です。



なお、今回の「附子」(ぶす)は、江戸自体の版本『狂言記』に基づいています。





## 大会郵便局 Kongresa Poŝtoŝicejo

郵便局の臨時出張所が開設、大会記念スタンプを用意しました。知人や外国の文通友達にきれいな切手に記念スタンプを押して、送りました。

また、前川治哉さんが大会記念のフレーム切手を販売しました。

Japano Poŝtoservo preparis memor-stampon por la kongreso. Oni sendis leterojn kaj bildkartojn por la memoro de la kongreso.

Cetere S-ro Maekaua Haruja vendis okazajn poŝtmarkojn.

## 前川典子没後 40 年展示 Por memoro de Maekawa Noriko post 40 jaroj

豊中と池田に別れる前の豊能エスペラント会の時からの会員だった、前川典子さんが亡くなって、もう40年になります。

豊中エスペラント会会員で、典子さんの姉に当たる的場祐子さんの発案で、昔の資料を探し出し、典子さんをよく知る、菊島和子さんも協力して、5枚のパネルにすることができました。

前川典子さんの著書は、もう入手困難ですが、彼女のがんばりと、明るい笑顔は、古いエスペランティストたちの心の中に今も残っています。



←パネル展示の前に立つ、姫の的場祐子さん。

## 豊中駅北口でショーウィンド展示

期間は5月16～31日の2週間枠。窓口は豊中市民活動情報サロン。

豊中エスペラント会が応募→「公民館展示で歴年の経験。本年は豊中に10年に1度の関西エスペラント大会」と売込み。4月18日関西エスペラント大会直前の枠を認可。展示計画書を4月17日提出→豊中市コミュニティ政策課。報告書を展示終了後に提出。

<壁上部>には、(1)右端：Kio estas Esperanto? および関西大会公開番組入門講習への呼び込み。(2)中央に公開番組を、(3)左端に、豊中市・大阪大学関連の情報を集めた。

<壁下部>には、(1)右：世界人口の言語分布地図(英語人=7%等)、(2)中：TVバラ出演、(3)左：朝日小学生新聞のニュースと会員の写真。そして「最近のマスコミに登場したエスペラント」として(1)と(2)を矢印で結んだ。

<手前・床面>にはエスペラント書籍を平置き。「見映え」のする表紙を優先。左から右へ、最新刊から古典書まで配列。左側に先月刊行されたばかりの「鎮魂句・写真集」、右側に2001年発刊の手塚マンガ「火の鳥」エスペラント版。

### モスバーガー入口の黒板に「6月12日はエスペラントの日」




豊中エスペラント会の会員が、モスバーガー服部店の入口の黒板に6月12日はエスペラントの日だとの表示を見つけました。店員に聞いたら、神戸大学の学生がネットで調べたとの事。“Bonan tagon”とも書かれていました！



※ 1906年6月12日、日本エスペラント協会が設立されました。

この「日本エスペラント協会」の活動が停滞したため、「日本エスペラント学会」が設立され、近年になって、「学会」が「日本エスペラント協会」と名称変更されました。

一応は別の組織なのですが、日本で本格的運動が始まった日です。

月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsō"	出席者
2017年公民館3階C 5月27日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子、久保田百合。 gasto: 森均。夏の季語で俳句、狂言「附子・狂言記版」練習。	 6
6月10日(土)10時	高鶴弘夫、的場祐子、島谷剛。	 3
6月24日(土)10時	第十話 "La Nobela Fraŭlo" 186 ページ 17 行目 "Kiam la sekvan fojon mi aŭdis pri Francisko。"	 ?

**例会予定** 2017年 6月10日、24日、7月1日B、15日、  
8月5日、19日、9月2日、16日、30日B。



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。(日付)はお休みです。



## 行事予定

2017年 7月22日～29日(土～土) 第102回世界大会(ソウル)

9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国大会(倉敷市)

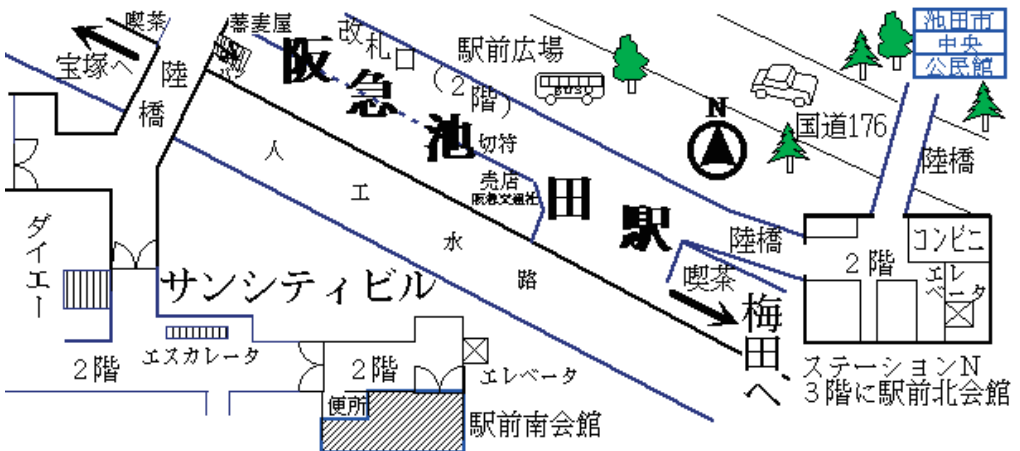
11月3日(金・祝日)～5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市)

12月17日(日) 北摂ザメンホフ祭(吹田担当)

2018年7月28日～8月4日(土～土) 第103回世界大会(ポルトガル・リスボン)

8月4日～11日(土～土) 第74回世界青年大会(IJK、スペイン・バダホス(Badajoz))

10月12日～14日(金土日) 第105回日本エスペラント大会(奈良、第2回日韓共同開催)







N-ro 8-492  
Aŭgusto 2017  
(2017年7月発行)



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655



## ★8月19日(土) 秋の季語で俳句の会

メール参加歓迎。詠んだ句は La Movado に投稿します。



### 5月27日(土)の句会(夏の季語)

La Movado 8月号掲載以外の俳句です

○ 岩田好兼 ( 俳号 : Joši ):

En kaŝludo knab'  
senmova ĉe **dika trunk'**.  
Siestas aŭ ne?

Orelojn levas  
kateto sur genuo —  
Kaprica pluvo

○ 高鶴弘夫 ( 俳号 : Gruo ):

Kun faboj en sak'  
pendigita de tali'  
naĝas infano



Surŝultriginte  
**moso bambuon** por flors'  
mi iras naĝi

○ 島谷 剛 ( 俳号 : Takesi ):

**Ruĝas kaj flavas**  
tropeoloj en ĝarden' —  
Pluvozas nuboj

Tie kaj tie  
lumetas lucioloj —  
Regas tenebro

○ 的場祐子 ( 俳号 : Yuko ):

Por memoraĵo  
mordi **akvomelonon** —  
Vilao sur plaĝ'



### ● Fraŭlino Kaguja かぐや姫

rerakontis SIMATANI Takesi

Antaŭ multaj jaroj ie vivis maljunaj geedzoj. La maljunulo prenis bambuojn kaj faris diversajn necesajojn. Iun tagon en bambuejo li trovis lumantan internodaĵon ĉe iu bambuo. Li hakis la bambuon kaj trovis en ĝi knabinon tricolan. Ĉar la geedzoj ne havis infanon, ili adoptis la knabinon.

<http://esperanto.sannasubi.com/>

Post tio en la bambuejo la maljunulo ofte trovis oron en bambua internodaĵo. Li fariĝis riĉulo. La knabino el bambuo pli kaj pli kreskis kaj post tri monatoj grandiĝis al ordinara knabino. Ŝi estis brile bela kaj oni nomis ŝin Fraŭlino Kaguja.

Ju pli granda des pli bela ŝi fariĝis. Kvin nobeloj petis ŝian manon. Ili estis la Princo *Iŝizukuri*, la Princo *Kuramoĉi*, la Dua Ministro *ABE no Miusi*, la Ĉefkonsilisto *OOTOMO no Mijuki* kaj la

Mezkonsilisto *ISONOKAMI no Maro*.

Fraŭlino *Kaguja* tamen ne volis edziniĝi al ili kaj diris. “Mi estos edzino de tiu, kiu revenos kun la trezoro, kiun mi asignos.”

La Princo *Išizukuri* devis alporti la Brilantan Ŝtonan Bovlon de Ŝjakjamunio. La Princo *Kuramoĉi* la Branĉon el Gemo de la Insulo Penglajo. La Dua Ministro *ABE no Miusi* la Felon de Fajra Muso, kiu estas imuna al fajro. La Ĉefkonsilisto *OOTOMO no Mijuki* la Gemon ĉe la Kolo de Drako, legenda besto. Kaj la Mezkonsilisto *ISONOKAMI no Maro* alportu la Hirundan Venerkonkon, kiu aperas je nasko de la birdo.

La Princo *Išizukuri* revenis kun malnova bovlo, kiun li trovis ĉe montara templo en Japanio. Ĝi tamen estis nigra kaj ne brilis, do ne estis la aŭtentika.

La Princo *Kuramoĉi* ŝajnis ekveturi sur ŝipo kaj tuj revenis sekrete. Al Fraŭlino *Kaguja* li alportis belan gembranĉon, kiun li fabrikigis. Li tamen ne pagis al la metiistoj kaj ili alvenis por la ŝuldo. Tiel malkaŝigis lia trompo.

*ABE no Miusi* alportis felon. Sed ĝi neniigis en fajro.

*OOTOMO no Mijuki* ekveturis al la Insulo de Drakoj. Sed lin trafis uragano kaj li apenaŭ savis sian vivon.

*ISONOKAMI no Maro* grimpis al alta tegmento por preni la Venerkonkon el nesto de hirundo. Ve, li falis teren kaj grave vundiĝis.

Ŝia famo finfine atingis Kioton kaj la Mikado mem venis vidi ŝin. Jubilis la maljunulo, la adoptinto. Sed *Kaguja* rifuzis Mikadon. Kiam oni volis perforte forkapti ŝin, tenebro alvenis kaj malaperis *Kaguja*. Mikado vidis, ke ŝi ne estas

ordinara homo. Li petis pardonon kaj reiris al Kioto. Post tio Mikado kaj *Kaguja* foje interŝanĝis leterojn kun poemoj.

Pasis tri jaroj kaj Fraŭlino *Kaguja* foje ploris al la luno. La maljunulo demandis, kial ŝi ploras. *Kaguja* plore respondis. “Lunano mi estas. Pro peko oni forpelis min de la luno al la tero. La tempodaŭro plenumiĝis kaj absolviĝis mia peko. En la venonta plenluno oni venos reveturigi min. Mi devos adiaŭi vin.”

La maljunulo surprizita petis helpon de Mikado. Por deteni Fraŭlinon *Kaguja* Li sendis multajn soldatojn al la domo de la maljunulo. En la plenluno noktmeze multaj anĝeloj desupris de la ĉielo. La soldatoj kutime bravaj perdis kuraĝon kontraŭ la anĝeloj. En anĝela plumorobo *Kaguja* tuj forgesis ĉion sur la tero pekoplana kaj reiris al la luno.

Antaŭ ol vesti sin per anĝela robo *Kaguja* kun letero donacis al Mikado senmortan eliksiron. Mikado tamen bruligis la eliksiron sur la Monto *Huĝi*, la plej alta en Japanio. Li ne volis eterne vivi sen *Kaguja*. Post tio la Monto *Huĝi* (Senmorta) sputas fumon al la ĉielo, kie vivas Fraŭlino *Kaguja*.

※ El la kvin nobeloj realaj estas *ABE no Miusi* (635-703), *OOTOMO no Mijuki* (646?-701) kaj *ISONOKAMI no Maro* (640-717). Se la kvin estas eminentuloj en la listo de nobeloj en la jaro 701, la Princo *Kuramoĉi* devas esti *HUĜIŪARA no Huhito* (659-720) kaj la Princo *Išizukuri* estu *TAGIHI no Ŝima* (624-701).

※ La Insulo Penglajo: legenda insulo en orienta maro, kie vivas senmortuloj.



## 秋の季語 **sezonaj vortoj de aŭtuno**

立秋 la unua tago de aŭtuno, 処暑 fino de varmeĉo, 八月 / 葉月 / 仲秋 aŭgusto, 白露 / 寒露 malvarma roso, 秋分 aŭtuna ekvinokso, 九月 / 長月 septembro, 霜降 prujno, 十月 oktobro, 稻刈時 rizrikolto, 殘暑 varmo de malfrua somero, 新涼 / 爽やか / 冷やか friskas aŭtuno, 霧 nebulo, 朝寒 matene malvarmas, 夜長 longas nokto, 月 luno, 三日月 lunarko, 満月 / 名月 plenluno 星月夜 luno kaj steloj, 秋の星 aŭtunaj steloj, 天の川 Ĉiela Rivero / Lakta Vojo / Galaksio, 流星 meteoro 彼岸 ekvinoksa budhoservo, 罫雲 ciruskumuliso, 野分 furioza ventego, tajfuno 秋時雨 malvarmeta pluveto, 秋の雷 tondro, 稻妻 fulmo, 運動会 sporta festivalo, 夜学 vespera lernejo, 案山子 birdotimigilo, 脱穀 draŝado / dis-grajnigo, 夜なべ labori vespere, 新牛蒡 nova lapo, 盆踊 ulambana danco, 相撲 sumoo, 菊人形 krizantemumita figuro, 原爆忌 (長崎) Tago de Atom-bombo, 敗戦日 ~ de Kapitulaco, 震災忌 ~ de Tokia Tertremo, 敬老の日 ~ de Maljunuloj, 体育の日 ~ de Sporto, 文化の日 ~ de Kulturo, 赤い羽根 ruĝa plumo, 七夕 Stela Festo, 中元 jarmeza donaco, 秋祭 aŭtuna festo, 盂蘭盆会 ulambano, 茄子の馬 solana ĉevalo, 送火 fajro por reirantaj animoj, 墓参 viziti tombon, 燈籠流し flosigi lanternon, 燈籠 lanterno, 大文字 torĉegoj en formo de "Grando", 芋煮会 manĝi kolokasion,

**動物:** 鹿 cervo, 猪 apro, 渡り鳥 migrobirdo, 燕帰る forflugas paseroj, 鴝 (もず) lanio, 鶇 (ひよどり) hipsipeto, セキレイ motacilo, ウズラ koturno, キツツキ pego, 雁渡る alflugas sovaĝanseroj, ボラ mugilo, ハゼ gobio, 秋鯖 skombro, 鰯 sardino, 秋刀魚 sairo, 鮭 salmo, つくつく法師 cukcukikado, とんぼ libelo, 赤蜻蛉 (あかとんぼ) ruĝa libelo, 鈴虫 homeogrilo, きりぎりす ĉirpo-lokusto, ぼった arkido/lokusto, 蝗 (いなご) rizlokusto/rizarkido, 蟬 (かまきり) manto, コオロギ grilo, 蓑虫 saklarvo,

**植物:** 金木犀 oranĝflava osmanto, 芙蓉 ĉina hibisko, 桃 persiko, 梨 piro, 柿 persimono, 林檎 pomo, 葡萄 vinbero, 栗 kaŝtano, 石榴 granato, 無花果 figo, 胡桃 juglando, 酢橘 sudaĉo, 柚子 vinagrocitrono, 檸檬 limono, citrono, 紅葉 ruĝaj folioj (de acero), 黄葉 flavaj folioj, 団栗 glano, 銀杏 (実) ginko, 鶏頭 celozio/amaranto, 秋桜 (コスモス) kosmoso, 白粉花 (オシロイバナ) niktafo, へちま lufo, 鬼灯 (ホオズキ) alkekengo, fízalido, 鳳仙花 balzamino/netuŝumino, サフラン safrano, 菊 krizamtemo, 西瓜 akvomelono, 南瓜 kukurbo, 唐辛子 kapsiko, 稲穂 rizspiko, 玉蜀黍 maizo, 落花生 arakido, 秋の七草 sep aŭtunaj herboj, 萩 lespedezo, 薄 (すすき) miskanto, 萱 (かや) torejo, 萩 arĝenta miskanto, 数珠玉 kojksio, 葛 (クズ) puerario, ホップ lupolo, 撫子 dianto, 猫じゃらし / エノコログサ verda setario, 曼珠沙華 / 彼岸花 radia likorido, 桔梗 platikodono, 女郎花 (おみなえし) patrinio, 竜胆 (りんどう) genciano, 露草 komelino, 茸 fungo, 松茸 macutako, 椎茸 ŝitako, 朝顔 farbito, 苦瓜 (ゴーヤー) momordiko, オクラ gombo, フヨウ・ムクゲ hibisko, 濁り酒 kruda sakeo, 新米 nova rizo, 枝豆 antaŭmatura sojfabo, とろろ汁 raspita ignamo, 新豆腐 nova tohuo

月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsø"	出席者
2017年公民館3階C 6月24日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
2階会議室B 7月1日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
3階会議室C 7月15日(土)10時	第11話 "La Berila Kroneto" 190 ページ下から2行目 Kelkajn momentojn poste から。	 ?

**例会予定** 2017年8月5日、19日(秋の季語で俳句)、9月2日、16日、30日B。  
後期申請中：10月7日、14日、28日、11月11日B、18日、25日、  
12月9日、16日。2018年1月13日、20日、27日、2月10日、17日、24日、  
3月10日B、17日、24日。



会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。

\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。(日付)はお休みです。



## 行事予定

2017年 7月15日(土) 15時 KLEG 委員会。

7月22日～29日(土～土) 第102回世界大会(ソウル)

9月9日(土) KLEG 委員会。16日～17日(土日) Friska Lernejo

9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国大会(倉敷市・国民宿舎良寛荘)

11月3日(金・祝日)～5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市・かながわ労働プラザ)

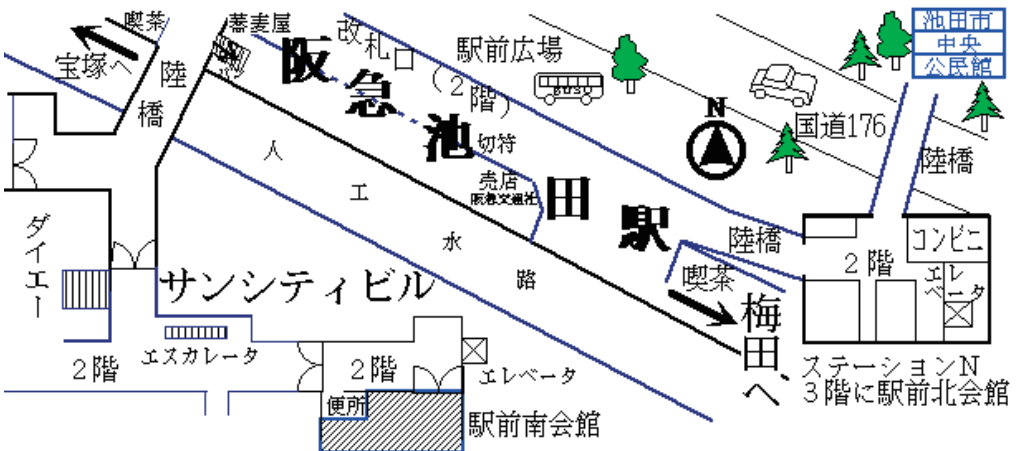
11月18日(土) 15時 KLEG 委員会。12月17日(日) 北摂ザメンホフ祭(吹田担当)

2018年1月20日(土) KLEG 委員会。3月17日(土) KLEG 委。4月21日(土) KLEG 委。

7月28日～8月4日(土～土) 第103回世界大会(ポルトガル・リスボン)

8月4日～11日(土～土) 第74回世界青年大会(IJK、スペイン・バダホス(Badajoz))

10月6日7日8日(土日祝) 第105回日本エスペラント大会(奈良、第2回日韓共同開催)





La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## 次の輪読は？

『シャーロックホームズの冒険』もそろそろ先が見えてきました。次のテキストはどうしましょうか？輪読参加者からは、メグレ警視を読みたい、という声も出ています。

○ジョルジュ・シムノン Georges Simenon のメグレ警視シリーズは、D.Luez 訳、Sezonoj (ロシア) 刊で次の5冊があります。年は翻訳が出版された年、価格は参考です。

“Maigret hezitas(メグレと殺人予告状)” (絶版ですが、PDF ファイルを以下から入手可:  
<http://www.esperanto-ondo.ru/Libroj/Simenon.pdf>)

“Maigret kaj la maljuna damo (メグレと老婦人)” 2002年、128p. 1400円 (老婦人のために用意された睡眠薬を代わりに飲んだ女中が死んだ)。

“Amiko el la junaĝo de Maigret(メグレの幼な友達)” 2005年、128p. 1700円。

“La flava hundo (黄色い犬)” 2007年、119p. 1750円。

“Maigret eraras(メグレ間違う)” 2009年、126p. 1700円。

## 宝の槌 (たからのつち)

狂言記外五十番 巻二の一  
登場人物：大名、冠者、すり  
大名(長袴(ながかま)、小さ刀(ちいさな))「大果報の者。冠者ぬるか。」

冠者(半袴、腰帯)「是にぬまする。」  
大名「やがてみな〜うち寄って、眼前に奇特(きど)のある宝物を比べさしらるゝはづじゃが、おれが所に、何もそのやうな宝はあるまいぞ。」

冠者「さやうの宝は御ざりませぬ。聞きもおよびませぬ。」

大名「そちは都へ上(のぼ)り、奇特のある宝を買ふて参れ。」

## Maleo de Elmeto

el “Kyoogenki GaiGozyuuBan” vol. 3.1  
tradukis SIMATANI Takesi 2017

Sinjoro: Mi estas la plej prospera  
Sinjoro. Kie estas Tarookazyza?

Tarookazyza: ♪ Jen antaŭ vi!

S: Baldaŭ oni kunvenos kaj konkursos pri magiaj trezoroj. Ĉu estas magia trezoro en mia tenejo? Ĉu mi havas ian trezoron?

T: Vi ne havas magian trezoron. Neniam mi aŭdis pri magiaĵoj!

S: Tiam vi devas iri al Kioto kaj aĉeti magian trezoron.

冠者「畏(かしこ)て御ざる。」  
(冠者)「都へ上る、嬉しや、つみでに  
都を一見仕(つま)らふ。都へは着(ひ)たが、  
宝のあり所知らぬ。売り買ふ物  
呼ばわって通る。某も呼ばはらふ。宝  
買をふ〜。」

すり「都にすまぬ致すすっぱじゃ。田舎  
者が『宝買をふ』と言ふ。此者(この)  
をぬいてやらふ。なふ〜。」

冠者「何事ぞ。」

すり「その方は何事を呼ばわるぞ。」

冠者「宝を買いたい所で呼ばわりまら  
する。」

すり「扱(さて)その方は仕合(しあ)の  
よい人の。某(それ)が宝屋の亭主〜。」

冠者「会ひまらしたがよい仕合。宝買  
ませう。」

すり「売りませう。」

冠者「見せてくだされ。」

すり「畏た。田舎者じや、ぬいてやらふ。  
これ〜、宝見さませ。」

冠者「是に奇特があるか。」

すり「此宝は隠れ蓑、隠れ笠、打出の小  
槌(うちづち)、三つの宝のうち。此  
(の)槌をもって打ち出せば、欲しい物  
が出まらする。」

冠者「証拠が見たいまで。」

すり「やすい事。その方の欲しい物打ち  
出して御覽ぜ。」

冠者「脇差打ち出ませう。」

すり「唱へる事がある。教へませう。」  
(ささやく)

冠者「憶えた。蓬菜(ほうさい)の嶋なる、  
鬼の持った宝は、隠れ蓑(かみの)、隠  
れ笠(かざり)、打出の小槌(うちづち)。しよ  
りよう無(む)りやうじよ〜、ぐわっ  
しきこくに、ぐわったり。」

すり「脇差(わきざし)が出たは。」

冠者「出ました。証拠のためじゃ、これ  
を某がもらませう。」

すり「進ずるぞ。」

冠者「代物(しろもの)は何程ぞ。」

すり「万疋(まんびき)じゃ。」

冠者「買ませう。則(すなは)ち代物を三条

T: Laŭ via ordono.

T: Mi iru al Kioto. Estas bona okazo  
por ĝui Kioton... Jam mi estas en  
Kioto. Kie estas vendejo de trezoro?  
Oni krias por vendi kaj aĉeti.  
Ankaŭ mi krii: Mi aĉetos trezoron!

Fripono: Mi estas fripono en Kioto.  
Kampulo krias aĉeti trezoron. Mi  
trompu lin. Saluton, Sinjoro!

T: Kiu bonvolas paroli kun mi?

F: Kion vi krias laŭte en la strato?

T: Mi volas aĉeti trezoron. Por  
trezoro mi krias.

F: Kiel bonŝanca vi estas! Ĉar mi  
mem estas la vendisto de trezoroj.

T: Certe bonŝance mi renkontis vin!  
Mi aĉetos trezoron.

F: Volonte mi vendos.

T: Ĉu mi povas vidi?

F: Jes vi povas. (Mi trompu la kamp-  
ulon.) Jen ĉi tie estas trezoro.

T: Ĉu ĝi havas magian povon?

F: Ĉi tiu estas unu el Tri Magiaj Tre-  
zoroj, nome Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo  
kaj Maleo de Elmeto. Per ĉi tiu  
Maleo vi povas elmeti ion ajn.

T: Ĉu vi povas pruvi tion?

F: Jen mi pruvos. Vi elmetos ion ajn,  
kion vi volas.

T: Mi elmetu mallongan glavon.

F: Vi recitu sorĉajn vortojn. (ion  
flustras al T)

T: Mi ekmemoris: ♪ En Insulo de Eterna  
Vivo estas Tri Trezoroj de Magio:  
Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj Maleo  
de Elmeto. Per Maleo mi elmetos  
Ion ajn. Ek! Frapo, krako!!

F: Jen aperis mallonga glavo!

T: Jes aperis glavo! Mi prenu ĝin por  
pruvo.

F: Bone, la glavo estu via.

T: Kiom mi pagu por la Maleo?




F: Dekmil hikiojn.

T: Mi aĉetas. Vi ricevos la sumon en la

の大黒屋にて進じやう。」  
 すり「受け取りませう。」  
 (冠者)「嬉しや〜、よい宝を買い取った。此よし申さう。冠者が戻って御ざる〜。」  
 大名「何と宝とゝのへたか。早く見せてくれい。」  
 冠者「宝御覽被成(なされ)されませい。」  
 大名「是はいらぬ、宝見せい。」  
 冠者「宝とは此事、隠れ蓑、隠れ笠、此打出の小槌で欲しい物を打ち出ます。此脇差を打出して証拠に取って来て御ざる。」  
 大名「打出の小槌とは此事か。さらば何ぞ打出せ。」  
 冠者「お望み次第で御ざる。」  
 大名「さい〜馬がいる。打ち出せ。」  
 冠者「心得て御ざる。へ蓬萊の嶋なる、鬼の持った宝は、隠れ蓑隠れ笠、打出の小槌。しよりょう無量じょ〜、ぐわっしきこくに、ぐわったり。」  
 大名「出たか。」  
 冠者「馬が出ますが、此馬には、物を食はぬやうに、口を付けますまい。」  
 大名「出にくからふ。口を付けて打(ぶ)いませ。」  
 冠者(前のごとく言ふて)「馬が出ませうが、道の早いやうに、足をたんと付ませう。」  
 大名「つねの馬のやうにして打出せ。」  
 冠者「此馬に馬道具そへて、つい乗るやうにして打出す程に、そのまゝ乗って御覧ませい。」  
 大名「こしらへてあるぞ。」  
 冠者「へ蓬萊の嶋なる、鬼の持つ宝は、隠れ蓑隠れ笠、打出の小槌。しよりやうむりやうじよくぐわつしこくにぐわつたり。」  
 大名「さあ、乗ったぞ〜。」(大名は馬と間違えて太郎冠者に乗りかかる)  
 冠者「馬では御ざらぬ、冠者で御ざる。」(大名を振り落として逃げ入る)  
 大名「憎いやつの、やるまいぞ〜。」(逃げる冠者を大名が追い込む)(終わり)

gastejo Daikoku ĉe la Avenuo Sanĵoo.  
 F: Tre bone. Jen la Maleo de Elmeto!  
 T: Tre feliĉe mi sukcesis aĉeti magian trezoron. Mi rapidu hejmen... Jen revenis Tarookazya!  
 S: Ĉu vi revenis kun trezoro? Nun montru la trezoron!  
 T: Jen via trezoro!  
 S: Ne tian, sed trezoron mi volas vidi.  
 T: Ĉi tiu estas unu el Tri Trezoroj, nome Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj Maleo de Elmeto. Per Maleo vi elmetos ion ajn, kion vi volas. Por pruvo mi elmetis ĉi tiun glavon.  
 S: Do elmetu ion per la Maleo.  
 T: Kion vi volas elmeti?  
 S: Mi rajdos ĉevalon. Elmetu ĉevalon.  
 T: Laŭ via ordono. ♪ En Insulo de Eterna Vivo estas Tri Trezoroj de Magio: Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj Maleo de Elmeto. Per Maleo mi elmetos Ion ajn. Ek! Frapo, krako!  
 S: Ĉu aperis?  
 T: Ĉevalo aperos. Ĝi tamen ne havu buŝon por manĝi ion.  
 S: Ĝenus ĉevalo sen buŝo. Elmetu ĉevalon kun buŝo.  
 T: (Post sama recito) Ĉevalo aperos. Ĝi tamen havu multajn piedojn, por ke ĝi kuru rapide.  
 S: Elmetu ordinaran ĉevalon.  
 T: Mi elmetos ĉevalon kun selo kaj jungiloj. Sinjoro, vi estu preta por rajdi ĝin.  
 S: Jam preta mi estas!  
 T: ♪ En Insulo de Eterna Vivo estas Tri Trezoroj de Magio: Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj Maleo de Elmeto. Per Maleo mi elmetos Ion ajn. Ek! Frapo, krako!  
 S: Jen mi rajdis! (Sinjoro rajdas sur Tarookazya)  
 T: Mi ne estas ĉevalo, sed Tarookazya! (faligas S-n kaj foriras)  
 S: Kia kanajlo! Mi ne pardonos vin! (foriras post Tarookazya) (fino)

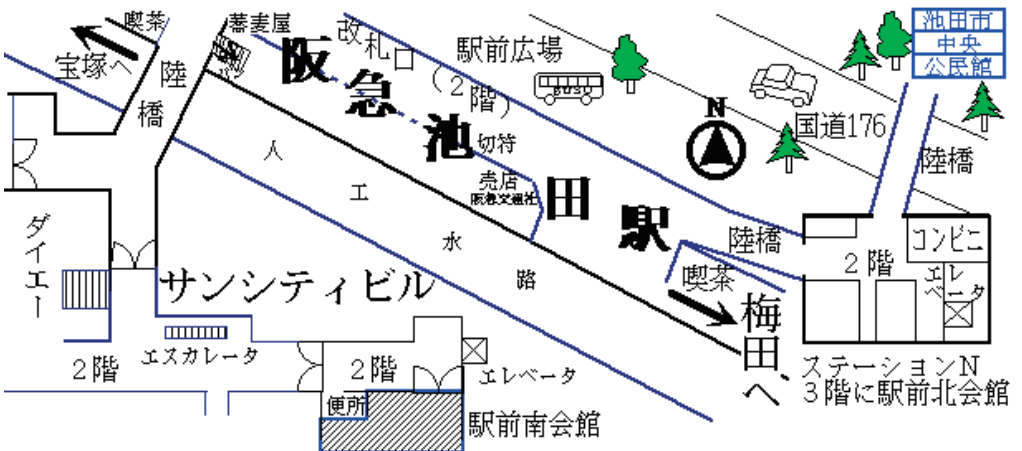


月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> "La Aventuroj de Ŝerloko Holmsō"	出席者
2017年公民館3階C 7月15日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
8月5日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
8月19日(土)10時	第11話 "La Berila Kroneto" 194 ページ下から12行目 "Kaj nun restas nur ŝi por priskribi から。秋の俳句も。	 ?

**例会予定** 2017年 8月5日、19日 (秋の季語で俳句)、9月2日、16日、30日B。  
10月7日、14日、28日、11月11日B、18日、25日 (冬の季語で俳句)、  
12月2日、9日、(16日午後阪急千里線千里山駅前でザメンホフ祭)。

2018年1月13日、20日、27日、2月10日、17日、24日、3月10日B、17日、24日。  
会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。

**行事予定** 2017年 9月9日(土) KLEG 委員会。  
16日～17日(土日) Friska Lernejo、9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国大会(倉敷市・国民宿舎良寛荘)  
11月3日(金・祝日)～5日(日) 第104回日本エスペラント大会(横浜市・かながわ労働プラザ)  
11月18日(土) 15時 KLEG 委員会。12月16日(土) 北摂ザメンホフ祭(千里山駅前)  
2018年1月20日(土) KLEG 委員会。3月17日(土) KLEG 委。4月21日(土) KLEG 委。  
7月28日～8月4日(土～土) 第103回世界大会(ポルトガル・リスボン)  
8月4日～11日(土～土) 第74回世界青年大会(IJK、スペイン・バダホス(Badajoz))  
10月12日～14日(金土日) 第105回日本エスペラント大会(第50回韓国エスペラント大会と共同開催。奈良県文化会館・ホテル日航奈良)



# La Apro

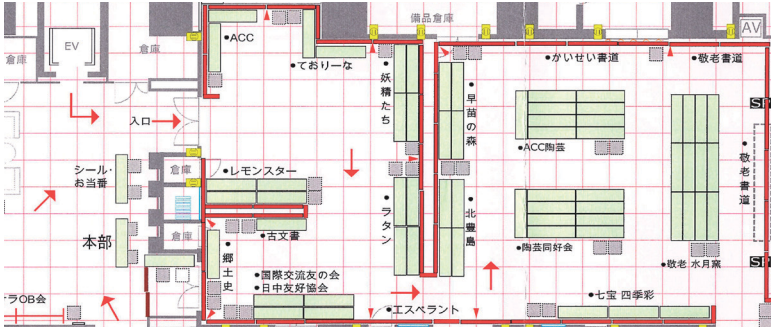
N-ro 10-494  
 Oktobro 2017  
 (9月発行)



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
 池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替 :00930-5-34655

## 第 28 回池田文化デー

11月3日(金・祝日)～5日(日) 池田商工会議所 2階でパネル展示



## Ĉu vi konas stereogramon?(165)

SIMATANI Takesi



夏の思い出:

紅葉葵

(もみじ)の花と  
ツバメの巣

De la somero:

floro de  
fingrofolia  
(marĉ)alceo

kaj

nesto de

hirundoj





## Maleo de Elmeto

el “Kyoogenki GaiGozyuuBan” vol. 3.1  
tradukis Simatani Takesi 2017

Sinjoro: Mi estas la plej prospera  
Sinjoro. Kie estas Tarookazya?

Tarookazya: ♪ Jen antaŭ vi!

S: Baldaŭ oni kunvenos kaj kon-  
kursos pri magiaj trezoroj. Ĉu estas  
magia trezoro en mia tenejo? Ĉu mi  
havas ian trezoron?

T: Vi ne havas magian trezoron.  
Neniam mi aŭdis pri magiaĵoj!

S: Tiam vi devas iri al Kioto kaj aĉeti  
magian trezoron.

T: Laŭ via ordono. Jen! (Sinjoro: Ek!)

T: Mi iru al Kioto. Estas bona okazo  
por ĝui Kioton... Jam mi estas en  
Kioto. Kie estas vendejo de trezoro?  
Oni krias por vendi kaj aĉeti.  
Ankaŭ mi krii: Mi aĉetos trezoron!

Fripono: Mi estas fripono en Kioto.  
Kampulo krias aĉeti trezoron. Mi  
trompu lin. Saluton, Sinjoro!

T: Kiu bonvolas paroli kun mi?

F: Kion vi krias laŭte en la strato?

T: Mi volas aĉeti trezoron. Por  
trezoro mi krias.

F: Kiel bonŝanca vi estas! Ĉar mi  
mem estas la vendisto de trezoroj.

T: Certe bonŝance mi renkontis vin!  
Mi aĉetos trezoron.

F: Volonte mi vendos.

T: Ĉu mi povas vidi?

F: Jes, vi povas. (Mi trompu la kamp-  
ulon.) Jen ĉi tie estas trezoro.

T: Ĉu ĝi havas magian povon?

F: Ĉi tiu estas unu el Tri Magiaj Tre-  
zoroj, nome Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo  
kaj Maleo de Elmeto. Per ĉi tiu

Maleo vi povas elmeti ion ajn.

T: Ĉu vi povas pruvi tion?

F: Jen mi pruvos. Vi elmetos ion ajn,  
kion vi volas.

T: Mi elmetu mallongan glavon.

F: Vi recitu sorĉajn vortojn. (La  
vortojn recitas por T)

T: Mi ekmemoris: ♪ En Insulo de  
Eterna Vivo estas Tri Trezoroj de  
Magio; Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj  
Maleo de Elmeto. Elmetos la Maleo  
ion ajn! Ek! Frapo! Krako! Jen! 🎪

F: Jen aperis mallonga glavo!

T: Jes aperis glavo! Mi prenu ĝin por  
pruvo.

F: Bone, la glavo estu via.

T: Kiom mi pagu por la Maleo?

F: Dekmil hikiojn.

T: Mi aĉetas. Vi ricevos la sumon en la  
gastejo Daikoku ĉe la Avenuo Sanĵoo.

F: Tre bone. Jen la Maleo de Elmeto!

T: Tre feliĉe mi sukcesis aĉeti magian  
trezoron. Mi rapidu hejmen... Jen  
revenis Tarookazya!

S: Ĉu vi revenis kun trezoro? Nun  
montru la trezoron!

T: Jen via trezoro!

S: Ne tian, sed trezoron mi volas vidi.

T: Ĉi tiu estas unu el Tri Trezoroj,  
nome Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj  
Maleo de Elmeto. Per Maleo vi el-  
metos ion ajn, kion vi volas. Por  
pruvo mi elmetis ĉi tiun glavon.

S: Por la unua fojo mi vidis la Maleon de  
Elmeto. Do elmetu ion per la Maleo.

T: Kion vi volas elmeti?

S: Mi rajdos ĉevalon. Elmetu ĉevalon.

T: Laŭ via ordono. ♪ En Insulo de  
Eterna Vivo estas Tri Trezoroj de  
Magio; Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj

Maleo de Elmeto. Elmetos la Maleo ion ajn! Ek! Frapo! Krako! Jen!! 🎵  
 S: Ĉu aperis?  
 T: Ĉevalo aperos. Ĝi tamen ne havu buŝon por manĝi ion.  
 S: Ĝenus ĉevalo sen buŝo. Elmetu ĉevalon kun buŝo.  
 T: (Post sama recito) Ĉevalo aperos. Ĝi tamen havu multajn piedojn, por ke ĝi kuru rapide.  
 S: Elmetu ordinaran ĉevalon.  
 T: Mi elmetos ĉevalon kun selo kaj jungiloj. Sinjoro, vi estu preta por rajdi ĝin.

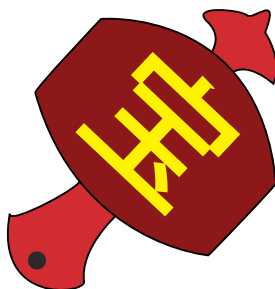
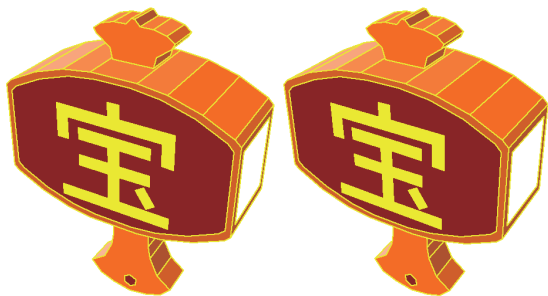
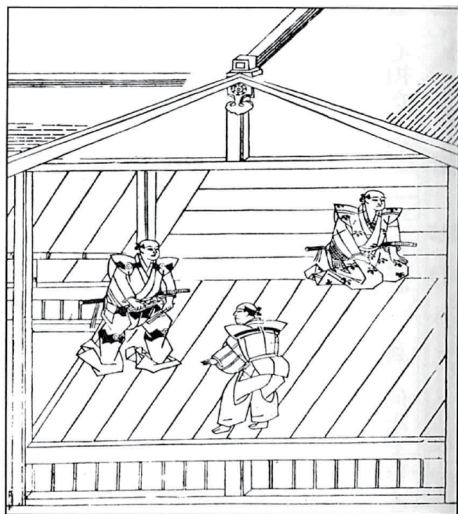
S: Jam preta mi estas!  
 T: 🎵 En Insulo de Eterna Vivo estas Tri Trezoroj de Magio; Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj Maleo de Elmeto. Elmetos la Maleo ion ajn! Ek! Frapo! Krako! Jen!!! 🎵  
 S: Jen mi rajdis! (Sinjoro rajdas sur Tarookazyza)  
 T: Mi ne estas ĉevalo, sed Tarookazyza! (faligas S-ron kaj foriras)  
 S: Kia kanajlo! Mi ne pardonos vin! (foriras post Tarookazyza) (fino)  
 狂言記外五十番 卷二の一「宝の槌 (たからづち)」

### 拍子にかかって謡う：



へ蓬菜 (ほうさい) の鳴なる、鬼の持った宝は、隠れ蓑 (かくれみ) 、隠れ笠 (かくれがさ) 、打出の小槌 (うちでの小づち) 。しよりよう無 (む) りやうじよ、ぐわっしきこくに、ぐわったり

### Recitu laŭ takto:

🎵 En Insulo de Eterna Vivo estas Tri Trezoroj de Magio; Kaŝmantelo, Kaŝĉapelo kaj Maleo de Elmeto. Elmetos la Maleo ion ajn! Ek! Frapo! Krako! Jen!!





月/日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> “La Aventuroj de Ŝerloko Holmo”	出席者
2017年公民館3階 8月19日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛。	 3
9月2日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
9月16日(土)10時	第11話“La Berila Kroneto”199ページ20行目 Ferbanko estis ampleksa, angula domo el blanka ŝtono から。	 ?

## 例会予定

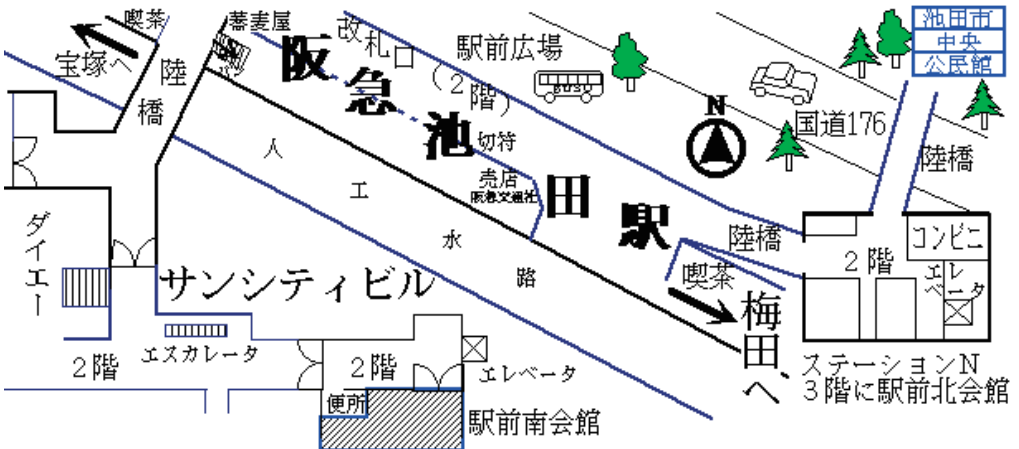
2017年 9月2日、16日、30日B。10月7日、14日、28日、  
11月11日B、18日、25日(冬の季語で俳句)、  
12月2日、9日、(16日午後阪急千里線千里山駅前でザメンホフ祭)。

2018年 1月13日、20日、27日、2月10日、17日、24日、3月10日B、17日、24日。  
会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。

## 行事予定

2017年 9月16日～17日(土日) Friska Lernejo (京都)、  
9月30日～10月1日(土日) 第18回中国・四国大会(倉敷市)  
11月3日(金・祝日)～5日(日)第28回池田文化デー。  
第104回日本エスペラント大会(横浜市) 11月18日(土)15時 KLEG 委員会。

12月16日(土)北摂ザメンホフ祭(千里山駅前)  
2018年 1月20日(土) KLEG 委員会。3月17日(土) KLEG 委。4月21日(土) KLEG 委。  
7月28日～8月4日(土～土)第103回世界大会(ポルトガル・リスボン)  
8月4日～11日(土～土)第74回世界青年大会(IJK、スペイン・バダホス(Badajoz))  
10月12日～14日(金土日)第105回日本エスペラント大会(第50回韓国エスペラント大会と共同開催。奈良県文化会館・ホテル日航奈良)  
2019年 第104回世界エスペラント大会(フィンランド・ラハティ)  
2020年 第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)





# La Organo

N-ro 11-495  
Novembro 2017  
(10月発行)



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## ★ 11月25日(土) 冬の季語で俳句の会

メール参加歓迎。詠んだ句は La Movado に投稿します。

### 8月19日(土)の句会(秋の季語)

La Movado 11月号掲載以外の俳句です

○ 岩田好兼 (俳号: Joŝi):

Eĥe sonoras

viskio kun glacio —

Aŭtuna nokto

Libeloj glisas

survoje al koncerto —

Suno sinkanta

○ 高鶴弘夫 (俳号: Gruo):

Iru al maro,

pasu tra alta ondo

dum la tajfuno

Likoridflorojn

prenante kiel ĉinojn

ni senkapigis

○ 島谷剛 (俳号: Takesi):

Nur ulambane

fratinton mi revidas —

grizan ĉiam pli

Pluvozas nuboj

Kuras kaj kuras

mi kiel infaneto —

Kampo miskanta

○ 的場祐子 (俳号: Yuko):

(Ĉiu poemo estis akceptita)

## Ĉu vi konas stereogramon?(166)

SIMATANI Takesi



地藏  
Sta-  
tuo-  
j de  
Ksiti-  
garbo

## 鶴の恩返し ( つるのおい )

島谷剛 再話

昔々、あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。ある雪の日、おじいさんは町へ薪を売りに行きました。薪が全部売れて帰り道に一羽の鶴が罾にかかって苦しんでいるのを見つけました。かわいそうに思ったおじいさんは鶴を逃がしてやりました。

その晩は吹雪になりました。夜中に表の戸を叩く音がします。おばあさんが開けてみると美しい娘が立っていました。道に迷ったと言うので、その晩は泊めてあげることにしました。

ところが次の日も、また次の日も雪は降り止みません。何日かして娘は「私は身寄りがありません。一生懸命働きますから、おじいさんおばあさんのところに、いさせてください。」とお願いしました。おじいさんおばあさんは子どもがいなかったので、喜んで自分たちの娘にしました。

ある日、娘が布を織りたいというので、おじいさんは町で糸を買ってきました。娘は、「私が布を織っているあいだ、けっして部屋をのぞかないでください。」と言って織り始めました。折り終わると娘は部屋から出てきて、「この布を町で売って、次の布を織るための糸を買ってきてください。」と言いました。

娘の織った布は「鶴の千羽織」と呼ばれてとても高く売れたので、おじいさんおばあさんはお金持ちになりました。娘は布を織るたびに織機のある部屋に閉じこもり、けっしてのぞかないように念を押します。

おじいさんとおばあさんは、最初は娘の言うとおりにしていたのですが、部屋

## Rekompenco de Gruo

rerakontis SIMATANI Takesi

Antaŭ multaj jaroj ie vivis maljunaj geedzoj. En iu neĝa tago la maljunulo iris al urbo por vendi brul-lignon. Post forvendo li revenvoje trovis grupon en kaptilo. Li kompatis kaj liberigis la birdon.

Tiun vesperon neĝo ekfuriozis. Nokte oni frapis la pordon. La maljunulino malfermis kaj trovis belan knabinon. Ŝi petis tranokton kaj la geedzoj gastigis ŝin.

Duan tagon kaj trian tagon la neĝŝtormo ne finiĝis. Post kelkaj tagoj la knabino petis. "Mi estas solulo. Multe mi laboros, se vi afablu akcepti min." La maljunuloj ne havis infanon kaj volonte adoptis ŝin.

Iutage la knabino proponis teksistofon. En urbo la maljunulo aĉetis fadenon. La knabino komencis teksi kun la peto: "Dum mia teksadonieniam rigardu en la ĉambro." Finteksinte ŝi eliris el la ĉambro kaj petis. "Bonvolu iri al urbo vendi la ŝtofon kaj aĉeti fadenon por alia ŝtofo."

La ŝtofo de la knabino estis "milpluma tuko de grupo" kaj oni aĉetis kontraŭ plej alta prezo. La geedzoj fariĝis tre riĉaj. Ĉiun fojon la knabino teksis en fermita ĉambro kaj malpermesis enrigardi.

Komence la geedzoj tenis ŝian instrukcion, kvankam scivolis kio

の中が気になって仕方ありません。ある日、とうとう戸の隙間からのぞいてしまいました。織機の前には娘はいませんでした。鶴が自分の羽を抜いて布に織り込んでいました。

布を折り終えて、娘は部屋から出てきました。「おじいさんおばあさん、私はおじいさんに命をすくっていただいた鶴です。恩返しのために人の姿になって、娘にまでしていただいて幸せでした。でも、鶴だということを知られたので、もうここにはいられません。」両手をひろげると両のつばさになり、娘は鶴の姿になって大空へ飛び去りました。

okazas en la ĉambro. Fine iun tagon ili enrigardis tra fendo de pordo. Ĉe la teksilo ili trovis ne la kanbinon, sed grupon. La birdo elŝiris siajn plumojn kaj enmetis ilin en la ŝtofon.





Post teksado elvenis la knabino. "Panjo kaj Paĉjo, mi estas la grupo savita de vi. Pro via favoro mi ŝanĝis min knabino. Feliĉa mi estis kiel via adoptito. Resti ĉi tie mi jam ne povas, ĉar vi malkaŝis min grupo." Ŝi etendis la brakojn kaj ili fariĝis flugiloj. Ŝi forflugis en la firmamenton, kiel blanka grupo.

## 冬の季語 sezonaj vortoj de vintro

クリスマス kristonasko、師走 jarfino、大晦日 silvestro、大寒 granda frosto、冬の朝 vintra mateno、短日 mallongas tago、霜夜 prujna / frosta nokto、寒波 frosto、寒月 frosta luno、凧 / 木枯 / 北風 frosta vento、霰(あられ) grajlo; hajleto、霽(みぞれ) neĝpluvo、霜(しも) prujno、雪 neĝo、雪女 neĝulino、吹雪 neĝoŝtormo、雪原 neĝkampo、枯野 morta kampo、冬眠 vintrodormi、枯葉 velkinta / mortinta / falinta folio、枯木 ~ a arbo、ボーナス kromsalajro、煤払(すすらい) ĝeneralala purigo、第九 naŭa simfonio de Betoveno、忘年会 jarfina bankedo、晦日蕎麦(みそか) jarfina fagopiraĵo、膝掛 genuŝirmilo、セーター ĵerzo、オーバー palto、襟巻 koltuko、手袋 gantoj、餅 moĉio; rizkuko、雪掻 forigi neĝon、ストーブ fajrujo; forno; stovo、スキー skii、スケート glitkuri; sketi、風邪 malvarmumo、日向ぼこ sunumo、年賀状 novjara salutkarto、お年玉 novjara donaco、獅子舞 leonmaska danco、羽子つき japana volanludo/plumpilko、初詣 unua vizito al sanktejo、七五三 festo por tri-、kvin- kaj sepjaraj infanoj、豆撒 demono-ekzorco、鬼は外 For la demonoj!、節分 lasta tago de vintro、コマ turbo、咳(せき) tuso

動物：牡蛎 ostro、熊 urso、狸 nikttereŭto、狼 lupo、鼬 mustelo、むささび flugsciuro、兎 leporo; kuniklo、鯨 / 勇魚 baleno、鷹 akcipitro、鷹狩 falkoĉaso(falkoはハヤブサ)、鴨 sovaĝa anaso、白鳥 cigno、鮪 tinuso、鰯(いわし) seriolo、鮫鱈 lofio、河豚(ふぐ) tetrodono; balonfiŝo、鰾 rombo; platfiŝo、海鼠 holoturio; markolbaso、

植物：葉牡丹 ornama brasiko、白菜 ĉina/pekina brasiko、ブロッコリ brokolo、葱 tubfolia ajlo、大根 rafano、カブラ rapo、人参 karoto、竜の玉 frukto de ofiopogono = drakbarbo(蛇の髯)の実、山茶花 sazanko、蜜柑 mandarino; oranĝo、枇杷の花 floras eriobotrio、水仙 narciso、シクラメン ciklameno

月 / 日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> “La Aventuroj de Ŝerloko Holmso”	出席者
2017年公民館3階 9月16日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。 台風接近中。	 4
9月30日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。 gasto: 森均。狂言『宝の槌 Maleo de Elmeto』の練習。	 4
10月7日(土)10時	岩田好兼、島谷剛、的場祐子。	 3
10月14日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。28日は第11話“La Berila Kroneto” 207ページ下から1行目“Estas malnova から。”	 4

## 例会予定

2017年 10月28日、11月11日B、18日、25日(冬の季語で俳句)、  
12月2日、9日、(16日午後阪急千里線千里山駅前でザメンホフ祭)。  
2018年 1月13日、20日、27日、2月10日、17日、24日、3月10日B、17日、24日。



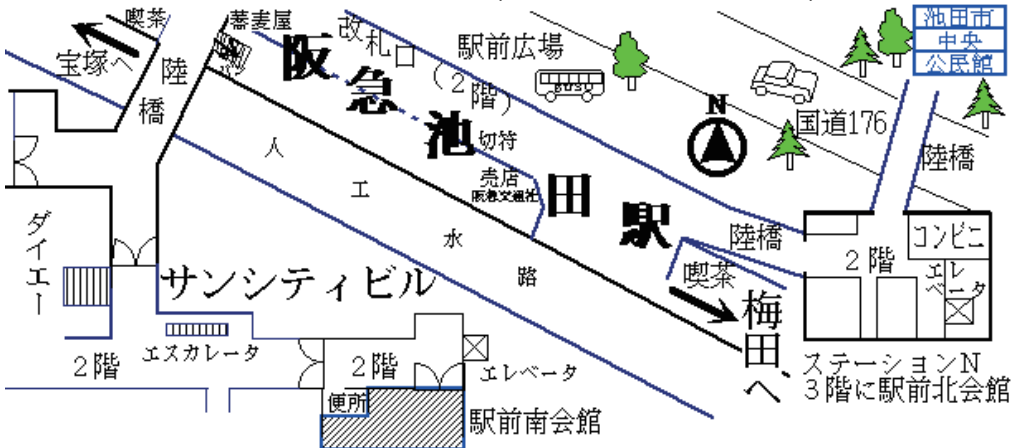
会場は池田市立中央公民館3階会議室C。第2・第4土曜日10時～12時。  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。



## 行事予定

2017年 11月3日(金・祝日)～5日(日)第28回池田文化デー・  
第104回日本エスペラント大会(横浜市)、18日(土)15時KLEG委員会。  
12月16日(土)北摂ザメンホフ祭(千里山駅前)

2018年 1月20日(土)KLEG委員会。23日(火)公民館ふれあい作品展説明会。  
3月8日(木)ふれあい作品展搬入。3月9日～11日(金土日)公民館ふれあい作品展  
3月17日(土)KLEG委。4月21日(土)KLEG委。  
7月28日～8月4日(土～土)第103回世界大会(ポルトガル・リスボン)  
8月4日～11日(土～土)第74回世界青年大会(IJK、スペイン・バダホス(Badajoz))  
10月12日～14日(金土日)第105回日本エスペラント大会(第50回韓国エスペラント大会と共同開催。奈良県文化会館・ホテル日航奈良)  
2019年 第104回世界エスペラント大会(フィンランド・ラハティ)  
2020年 第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)





# La APRO

N-ro 12-496  
Decembro 2017  
(11月発行)



La Organo de ESPERANTO-RONDO en IKEDA  
池田エスペラント会 〒563-0021 池田市畑 1-2-16 島谷方 振替:00930-5-34655

## ★ 12月16日(土) Zamenhof祭

13時～17時、千里山コミュニティセンター(阪急千里線千里山駅下車徒歩2分)。  
会費500円。池田エスペラント会は狂言「宝の槌 Maleo de Elmeto」を演じます。

## ★ 11月25日(土) 冬の季語で俳句の会

10時～12時、池田市中央公民館。メール参加も、会員外も歓迎します。  
推敲結果の俳句は、「モバード俳句」に投稿します(一人三句まで)。

## Ĉu vi konas stereogramon?(167)

SIMATANI Takesi



横浜  
中華街  
ĉina  
kvar-  
talo  
de  
Yoko-  
hama





## 霍大將軍、値死妻被打死語

(くわくたいしやうぐん、しせるめに  
あひてうたれてしにたること)

今は昔、震旦の漢の先帝の時に、霍大將軍と云ふ人有りけり、心猛くして悟り有り。

此の人、国王の御娘を妻(め)として有り。而る間、其の妻死にぬ。將軍、限りなく恋ひ悲しむと云へども、亦、相ひ見る事なし。而るに、將軍、忽に栢(か)の木を伐りて一の殿(と)を造りて、此の死せる妻を其の殿の内にして葬しつ。

其の後、將軍、猶、悲しみの心に堪へずして、朝暮に彼の殿に行て、食物を備へて礼(れい)して還る。

如此(かごと)くして既に一年を経たる間に、將軍、日晚(ひの)方に、彼の殿に行きて、例の如く食物を備ふる時に、昔の妻、本の姿にして出来れり。將軍、此を見て、恋ひの心深くして有りと云ふとも、恐ぢ怖る、事限りなし。妻、將軍に語りて云く、「汝ぢ、我を恋ひてかく為る事、実に哀れに貴し。我れ、喜ぶ所也」と。將軍、此の音(こゑ)を聞くに、弥(いよ)よ恐ぢ怖る。夜深くして人なし。將軍、逃げ去りなむと思ふ間に、妻、將軍の衣を捕へて、忽(たち)に懷抱せむとす。將軍、怖ぢ迷ひて逃げなむと為るを、妻、手を以て將軍の腰を打つ。將軍打たれて逃げて去りぬ。家に歸りて後、即ち、腰を痛むで夜半に死ぬ。

## Generalon Huo mortbatis lia forpasinta edzino

tradukis: SIMATANI Takesi

Antaŭ longa tempo en Ĉinio dum la regado de Ĵuan vivis la Granda Generalo Huo. Li estis kuraĝa kaj saĝa.

Lia edzino estis filino de Lia Imperiestra Moŝto. Foje ŝi forpasis. Kvankam forte lamentis la generalo, li jam ne povis vidi ŝin. Li konstruigis domon el terejo kaj en ĝi sepultis la edzinon.

Post tio ĉiun matenon kaj vesperon la generalo en malĝojo vizitis la Torejan Domon. Li oferis manĝaĵon kaj klinis sian kapon.

Tiel forpasis unu jaro. Iun vesperon la generalo vizitis la domon kaj oferis manĝaĵon kiel ĉiam. Tiam aperis la edzino en iama figuro. Kvankam li multe amis ŝin, granda teruro kaptis lin. La spirito de la edzino diris al li. "Vi ankoraŭ amas min. Kiel ĝoja mi estas!" Aŭdinte ŝiajn vortojn, des pli li timis. Estis nokto kaj mankis alia homo. Kiam la generalo volis forkuri, la edzino kaptis lian veston kaj volis ĉirkaŭpreni lin. Tute terurita la generalo provis forkuri. La edzino batis lin je la kokso. La generalo batita sukcesis forkuri. Pro doloranta kokso li tamen mortis en la noktomezo.

其の後、天皇、此の事を聞き給ひて、此の女（むす）の霊を貴びて、封五百戸を加へ給ふ。其の後は、国に災起らむと為る時には、彼の殿の内鳴る事、雷（いか）の音の如く也。加之（しかのみならず）、新たなる事多し。其の殿の鳴る時は、世の人、例の栢霊殿（はくりや）の音鳴るとぞ云ひける。

然れば、人を恋ひ悲しむ心深くとも、如然（しかの）きの事をば為すべからず。霊と成りぬれば、本の人の際の心は失せて、極めて怖しき事也となむ語り伝へたるとや。

※漢先帝：第八代元帝（?～前33年）の誤りか。

※栢（か）：榧（か）の古称。イチイ科の常緑高木。

**Premio Ossaka al Retpaĝo k.a. de IKEDA** ( 横浜日本大会で池田の狂言 ( ウェブページ等に小坂賞受賞 ) )



La afero atingis la orelojn de la Imperiestro. Lia Moŝto donacis al la animo de la filino bienon kun 500 farmdomoj. Poste en la tereno estis averta tondro okaze de landa katastrofo. Estis ankaŭ aliaj strangajoj bizaraj. Kiam tondras, oni diras, la sono venas el la Toreja Domo.

Eĉ en granda malĝojo vi tamen ne tiel sopiru la forpasinton. La spirito, malsame de origina homo, jam fariĝis terura monstro. Jen tiel oni rakontis al ni.

※ Jŭan (?-33 a.k.): La oka imperiestro de la Okcidenta Han-dinastio( 西漢 = 前漢 ).

※ Torejo: Alta konifero kreskanta en Japanio k.a.

**Premio Ossaka**

al s-ro SIMATANI Takesi  
Vi tradukis japanan noajn komediojn “Kyōgen” en Esperanton, kaj kun viaj kolegoj ofte prezentis ĝin okaze de Kansajaj Kongresoj de Esperanto.  
Vi tradukis ankaŭ japanan klasikan rakontaron en Esperanton.  
Via kontribuo al nia movado estas tre valora kaj meritas la honorindan Premion Ossaka.

**小坂賞**

島谷剛様




あなたは狂言をエスペラントに翻訳され、その上演に取り組まれました。また、今昔物語集などを翻訳され、日本の古典文学の紹介に努められました。これらの功績を讃え、2017年の小坂賞を贈呈いたします。

la 3an de novembro 2017  
Prezidanto de Japana Esperanto-Instituto

SUZUKI Keiichiro  
(署名)

一般財団法人日本エスペラント協会  
理事長 鈴木恵一朗



月 / 日 会場	輪読・会話 <i>Legi, Traduki kaj Babili en Esperanto</i> “La Aventuroj de Ŝerloko Holmso”	出席者
2017年 公民館 3階 10月28日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
2階B 11月11日(土)10時	岩田好兼、高鶴弘夫、島谷剛、的場祐子。	 4
11月18日(土)10時	第12話 "La Sangofagoj" (ぶな屋敷) 213 ページ下から13行 目 "Ŝajnas al mi, ke mi neniam antaŭe から。	 4

**例会予定** 2017年 10月28日、11月11日B、18日、25日(冬の季語で俳句)、  
12月2日、9日、(16日13時阪急千里線千里山駅前でザメンホフ祭)。  
2018年 1月13日、20日、27日、2月10日、17日、24日、3月10日B、17日、24日。



会場は池田市立中央公民館 3階会議室C。第2・第4土曜日 10時～12時。  
\*は会場未定。北・南は池田駅前北会館・南会館。



**行事予定** 2017年 11月18日(土) 15時 KLEG 委員会。25日冬の季語で俳句  
12月16日(土) 13時 北摂ザメンホフ祭(千里山駅前)  
2018年 1月20日(土) KLEG 委員会。

23日(火) 公民館ふれあい作品展説明会。

3月8日(木) ふれあい作品展搬入。3月9日～11日(金土日) 公民館ふれあい作品展  
3月17日(土) KLEG 委員会。4月21日(土) KLEG 委員会。  
7月28日～8月4日(土～土) 第103回世界大会(ポルトガル・リスボン)  
8月4日～11日(土～土) 第74回世界青年大会(IJK、スペイン・バダホス(Badajoz))  
10月12日～14日(金土日) 第105回日本エスペラント大会  
(第50回韓国エスペラント大会と共同開催。奈良県文化会館・ホテル日航奈良)  
2019年 第104回世界エスペラント大会(フィンランド・ラハティ)  
2020年 第105回世界エスペラント大会(カナダ・モントリオール)

